

第 2 期

(案)

香南市産業振興計画



香南市

令和2年 3月





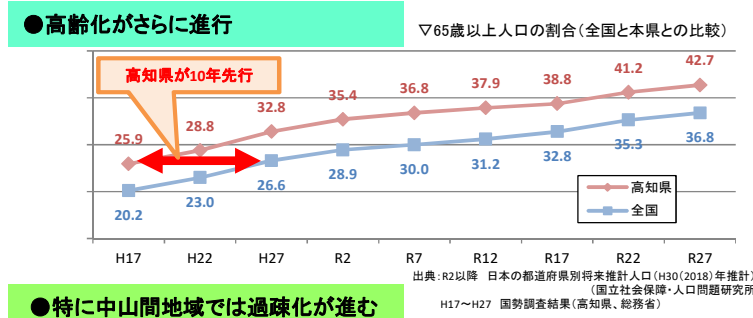
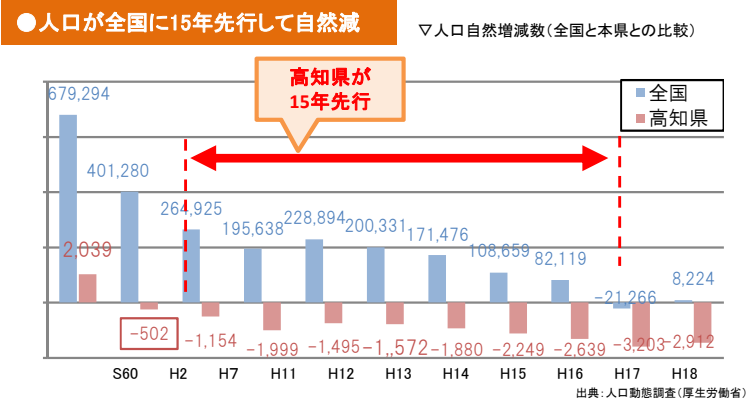
目次

- 人口減少の負のスパイラルに陥った高知県経済 (高知県産業振興計画より抜粋) … 1ページ
- 人口減少の負のスパイラルの克服に向けた高知県の取り組み (高知県産業振興計画より抜粋) … 2ページ
- 人口減少の負のスパイラルの克服に向けた香南市の取り組み (香南市人口ビジョン等より抜粋) … 3ページ
- 第1期 香南市産業振興計画の基本的な考え … 5ページ
- 第1期 香南市産業振興計画の各分野の取り組みと強化の方向性 … 6ページ
- 第2期 香南市産業振興計画の策定に向けて … 10ページ
- 第2期 香南市産業振興計画の取り組みを検証するための数値目標 … 12ページ
- 香南市産業振興計画 分野別部会の取組について (令和2年度版) … 13ページ
- 参考資料 … 23ページ

全国に先駆けて人口減少・高齢化社会に突入した高知県

「人口減少の負のスパイラル」のダメージが県経済の様々な面に表れる

高知県では、全国より15年先行して平成2年から人口が自然減の状態に陥り、人口減少による経済の縮みが若者の県外流出と特に中山間地域の衰退を招き、さらに経済が縮むことで県民の暮らしが一層苦しくなるという「人口減少の負のスパイラル」をたどってきました。

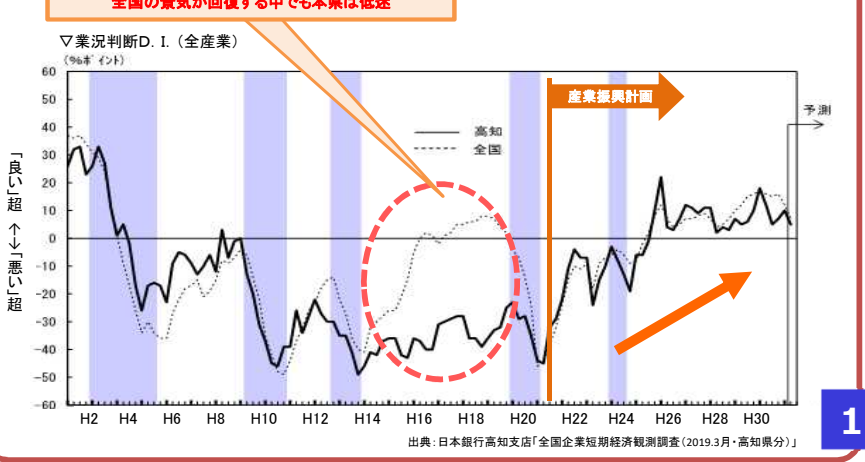
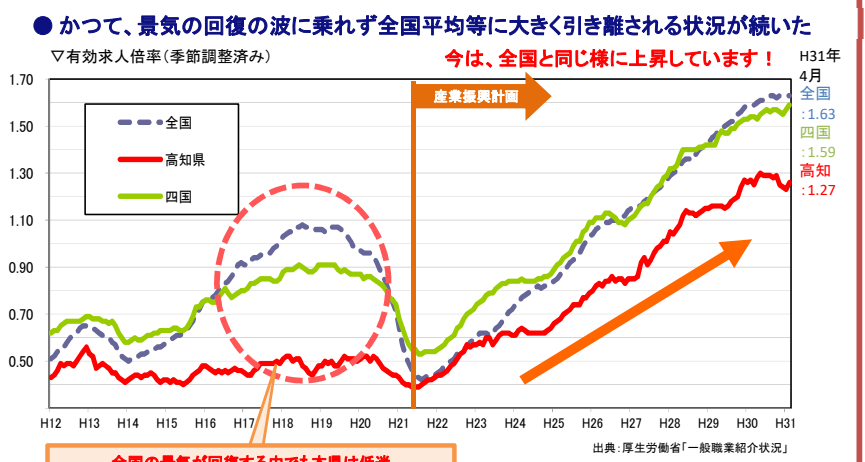
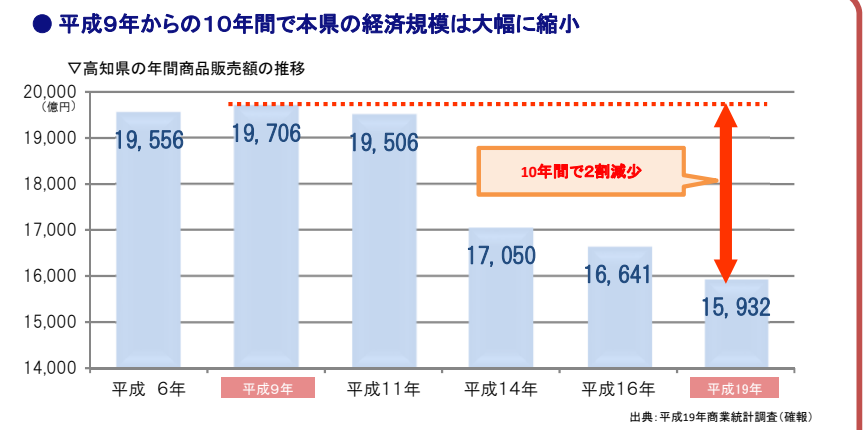
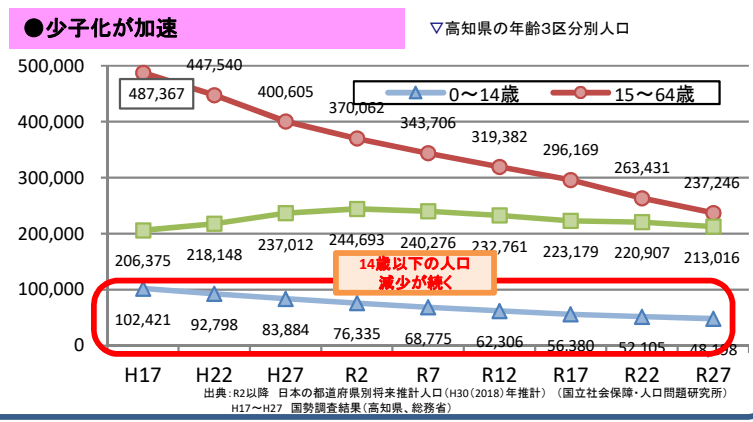


●特に中山間地域では過疎化が進む

▽県全体と県内中山間地域の人口の推移(昭和35年と平成27年の比較)

	S35	H27	S35→H27減少率
高知県全体	854,595人	728,276人	14.8%減
中山間地域	537,327人	285,379人	46.9%減

出典：平成28年 高知県県勢調査



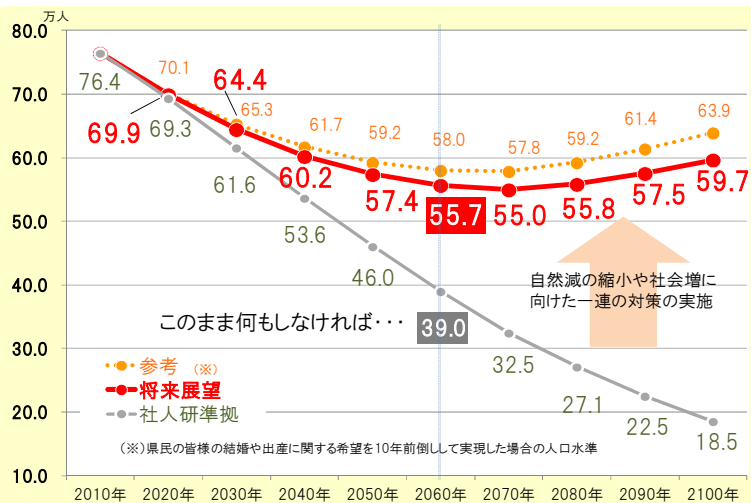


人口減少の負のスパイラルを克服することが高知県政における最大の課題です。この克服に向け、高知県においては「高知県まち・ひと・しごと創生総合戦略」に、2060年の県の人口を約55万7千人に踏みとどまらせ、将来的な人口の若返りと人口増への転換を目指すという『高知県人口の将来展望』を掲げて取り組みを全力で進めています。

《将来展望》 2060年：約55.7万人

※国の推計の39万人の約140%に相当
[現状(2015年):72.8万人]

○人口構造が若返る
年少人口割合は2020年から、生産年齢人口割合は2045年から上昇に転じる



若者の定着・増加

《将来展望》 2040年：1,000人の社会増
[現状(2018年度)：2,547人の社会減]

A

地産外商により
雇用を創出する

B

若者の県外流出の防止
県外からの移住者の増加

出生率の向上

《将来展望》 2040年：2.07、2050年：2.27
[現状(2018年)：1.48]

出典：平成30年人口動態統計月報年計(概数)

D

希望をかなえる
「結婚」「妊娠・出産」「子育て」

C

特に、出生率が高い傾向にある
中山間地域の若者の増加

[出生率]「人口動態保健所・市区町村別統計(平成20年~24年)」

高知市：1.35
中山間地域：四万十町1.68、土佐町1.61
津野町1.60、芸西村1.56

高知県まち・ひと・しごと創生総合戦略<平成31年度版>の構造

産業振興計画により推進

基本目標1 地産外商により 安定した雇用を創出する

- 成長に向けた「メインエンジン」をさらに強化する
- 成長の「壁」を乗り越える
- 成長を支える取り組みを強化する

数値目標

- ・雇用の創出 H28~R元：4,000人
 - ・各産業分野における産出額等の増加
- [これまでの成果]
雇用保険被保険者数 | H20:178千人→H30:197千人(+19千人)

基本目標2 新しい人の流れをつくる

- 県内高校生等の県内就職の促進
- 移住の促進 ● 人財の誘致

数値目標

- ・令和元年度に人口の社会増減をゼロにする
- [これまでの成果]
社会増減 | H16~20:▲3,396人/年
H21~25:▲1,625人/年
H26~30:▲1,974人/年
移住者数 | H23:120組(241人)→H30:934(1,325人)

基本目標3 若い世代の「結婚」「妊娠・出産」 「子育て」の希望をかなえる、 女性の活躍の場を拡大する

- ライフステージの各段階に応じた取り組みのさらなる推進
- 官民協働による少子化対策を県民運動として展開
- 女性の活躍の場の拡大

数値目標

- ・令和元年の合計特殊出生率 1.61
- [これまでの成果] H20:1.36→H30:1.48

県民の皆様の希望をかなえるために設定した2050年の2.27の達成に向けた中間目標として設定

基本目標4 コンパクトな中心部と小さな拠点との連携により人々の暮らしを守る

- 中山間地域での小さな拠点(集落活動センター、あったかふれあいセンター)の整備促進
- コンパクトな中心部と小さな拠点を衛星としたネットワークの形成

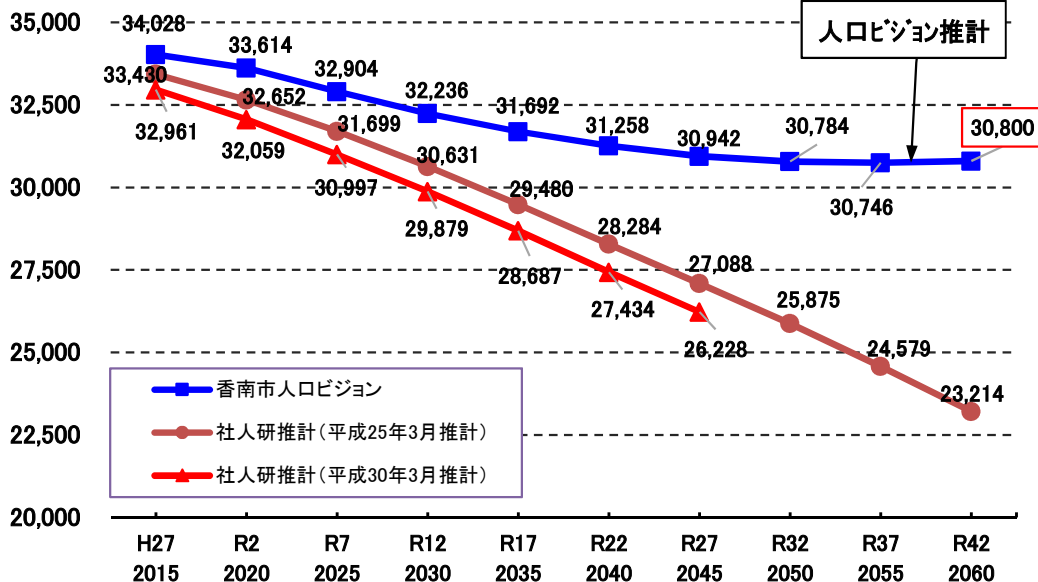
数値目標

- ・令和元年度末の集落活動センターの開設数 80ヵ所等
- [これまでの成果] R元.5月現在:29市町村52ヵ所



- 人口減少の負のスパイラルを克服することが高知県同様に、香南市にとっても最大の課題です。
- この克服に向け、香南市においては「**香南市人口ビジョン**」に、2060年の市の人口を**約30,800人**に踏みとどめる将来展望を掲げました。
- その実現に向け、自然増の縮小や社会増に向けた一連の対策を講じるために、「**香南市まち・ひと・しごと創生総合戦略**」を策定し、活力あるまちづくりを進めるための4つの基本目標を政策テーマと定め、講ずべき具体的な施策の取り組みを全力で進めています。

香南市の総人口推計



活力あるまちづくりを進めるために ... 4つの基本目標！

第2期

- ① 魅力ある産業を振興し、安定した雇用と稼ぐ産業をめざす
- ② 香南市とのつながりを強化し、新しい人の流れをつくる
- ③ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる環境をつくる
- ④ 地域コミュニティの活性化を図り、安心・安全な地域をつくる

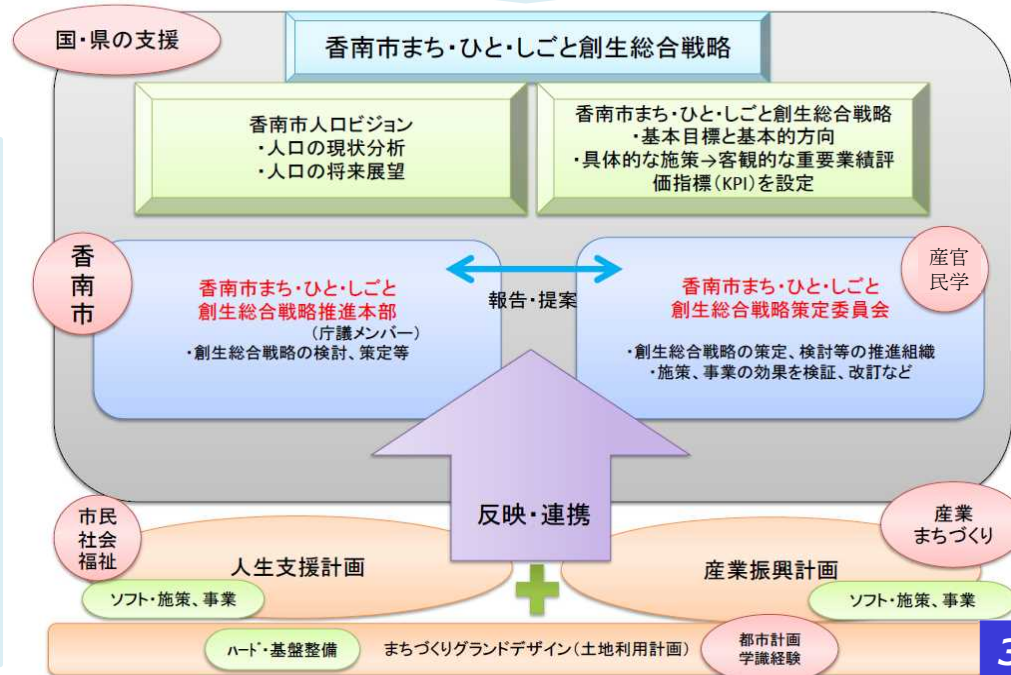
▶ 「次世代」を担う若者が、地域で誇りと希望を持ち、安心して暮らし働ける香南市

出生・死亡（自然増減）

- 出生率は、高知県実施の「結婚・出産・子育てに関する意向調査」と香南市が実施した「結婚・出産・子育てに関する市民意向調査」の結果が類似傾向にあることから、高知県が設定しているように合計特殊出生率が2030年に1.84、2040年に2.07、**2050年に2.27まで段階的に上昇することを目指す**。
- （出生率の推移）現状(2015年)：1.47 ▶ 2020年：1.64 ▶ 2030年：1.84 ▶ 2040年：2.07
- 死亡率については、現在と大きく変わらないと想定し、現在の傾向を維持することを目指す。

移動（社会増減）

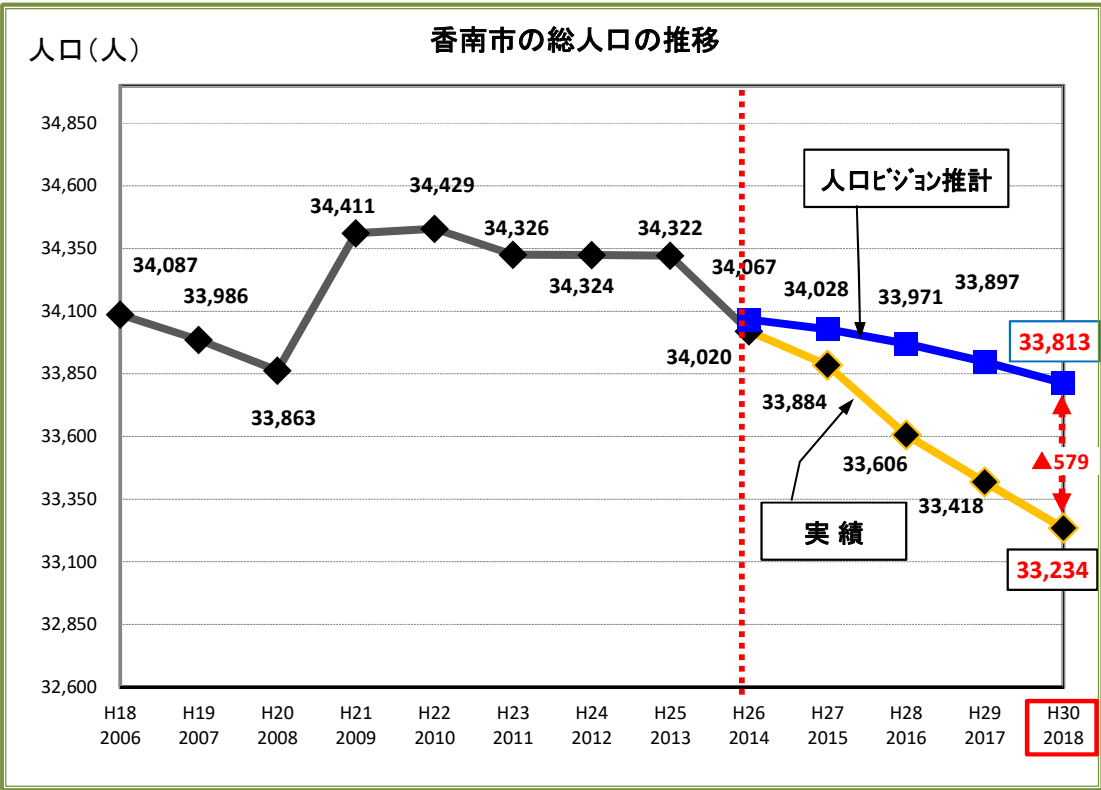
- 転入者は減少し、10年後には転出者と転入者数が均衡していくが、移住促進、住宅開発、生涯活躍のまち等の施策に取り組むことで、転入者の減少を極力抑え**2025年からは社会増約120人の状況が継続することを目指す**。





香南市における総人口の推移等 (H27~H31の状況)

総人口の推移



出典)高知県人口移動調査(3月末)

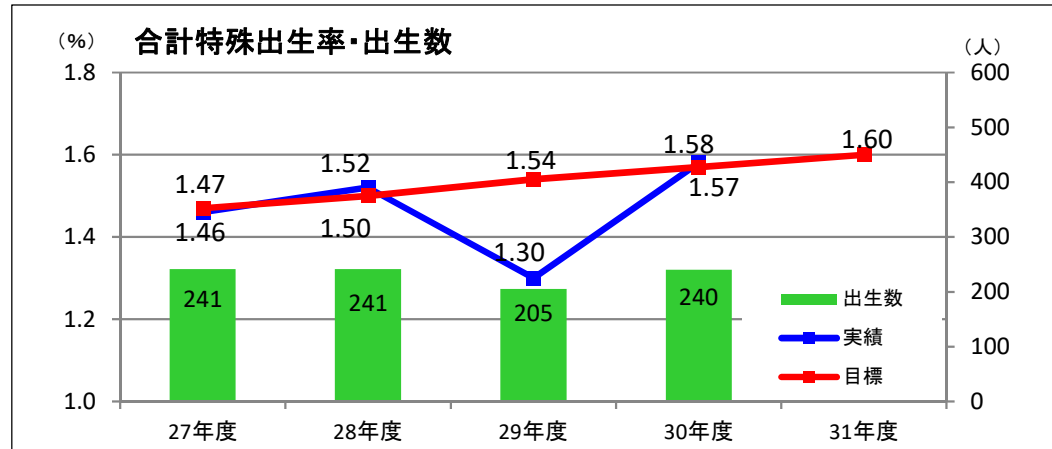
◇ 香南市における総人口の推移

人口ビジョン策定後(平成27年度)の香南市の総人口の推移については、緩やかな減少傾向にあり、平成30年3月末は33,418人で前年度比は▲188人、平成31年3月末は33,234人で前年比は▲184人となっており、人口ビジョンが目指す33,813人と比較し▲579人となっている。

2060年に30,800人を目標としている人口ビジョン推計よりも減少率は大きくなっているが、産業の振興や雇用の増加、移住・定住促進の仕組みづくりによる移住者の増加、また、子ども、子育て支援・環境の充実支援や協働のまちづくり(防災・交流等)等少しずつではあるが、成果が出ていることから、香南市人口ビジョンについては、5年目を迎える今年度(令和元年度)での時点修正等の見直しは行わず、引き続き、人口30,800人を目標とする。

出典)香南市まち・ひと・しごと総合戦略資料より

合計特殊出生率・出生数



◇ 合計特殊出生率・出生数について

合計特殊出生率は、平成29年度は1.30と目標に届いていなかったが、平成30年度は、出生数も240人と多く、1.58と目標の1.57を上回っている。

[出生数: H26年度245人、H27年度(241人)、H28年度(241人)、H29年度(205人)、H30年度(240人)]

平成27年度に策定した香南市人生支援計画の取り組みにおいて、人生をトータルでサポートする体制づくりに努め、ライフステージに応じた切れ目のない支援の検討や協議を行っていく。

出典)香南市まち・ひと・しごと総合戦略資料より

◆ 香南市の人口増減

	人口(3月末)	前年比	出生	死亡	自然増減	転入	転出	社会増減
平成26年度	34,020	-	245	417	-172	1,238	1,368	-130
平成27年度	33,884	-136	241	380	-139	1,353	1,350	3
平成28年度	33,606	-278	241	474	-233	1,257	1,302	-45
平成29年度	33,418	-188	205	458	-253	1,269	1,204	65
平成30年度	33,234	-184	240	445	-205	1,258	1,237	21

出典)高知県人口移動調査(3月末)

I 高知県産業振興計画との関係性

◇ 高知県産業振興計画と連携を図り、香南市産業振興計画の基本事項を設定

■ 香南市産業振興計画の基本事項

- ① 目標年次
 - ・ 高知県産業振興計画の「目指す将来像」や「目標値の達成状況」との関係性を常に確認しながら当市計画を推進することで、県の取り組みとの整合を図る。
- ② 香南市が高知県のトップランナー
 - ・ 高知県産業振興計画の目標達成に期待される「高知県のトップランナー」としての位置づけを意識し、各種取り組みを位置付ける
- ③ 基本的方向

産業間の連携を強化

- ・ ものづくりを強化し、付加価値を高める。
- ・ 県外からの観光客の誘致を図る。

足腰を強め、地力を高める

- ・ 第1次産業を伸ばす。
- ・ 地域アクションプランの推進
- ・ 中山間対策の強化

新たな産業づくりに挑戦する

- ・ 新たな産業集積を目指す。

◇ 香南市の地域特性を生かせる将来像

高知県産業振興計画の実現を担う計画として、香南市の地域特性を活かせる将来像を設定する。

◇ 香南市の色を出す

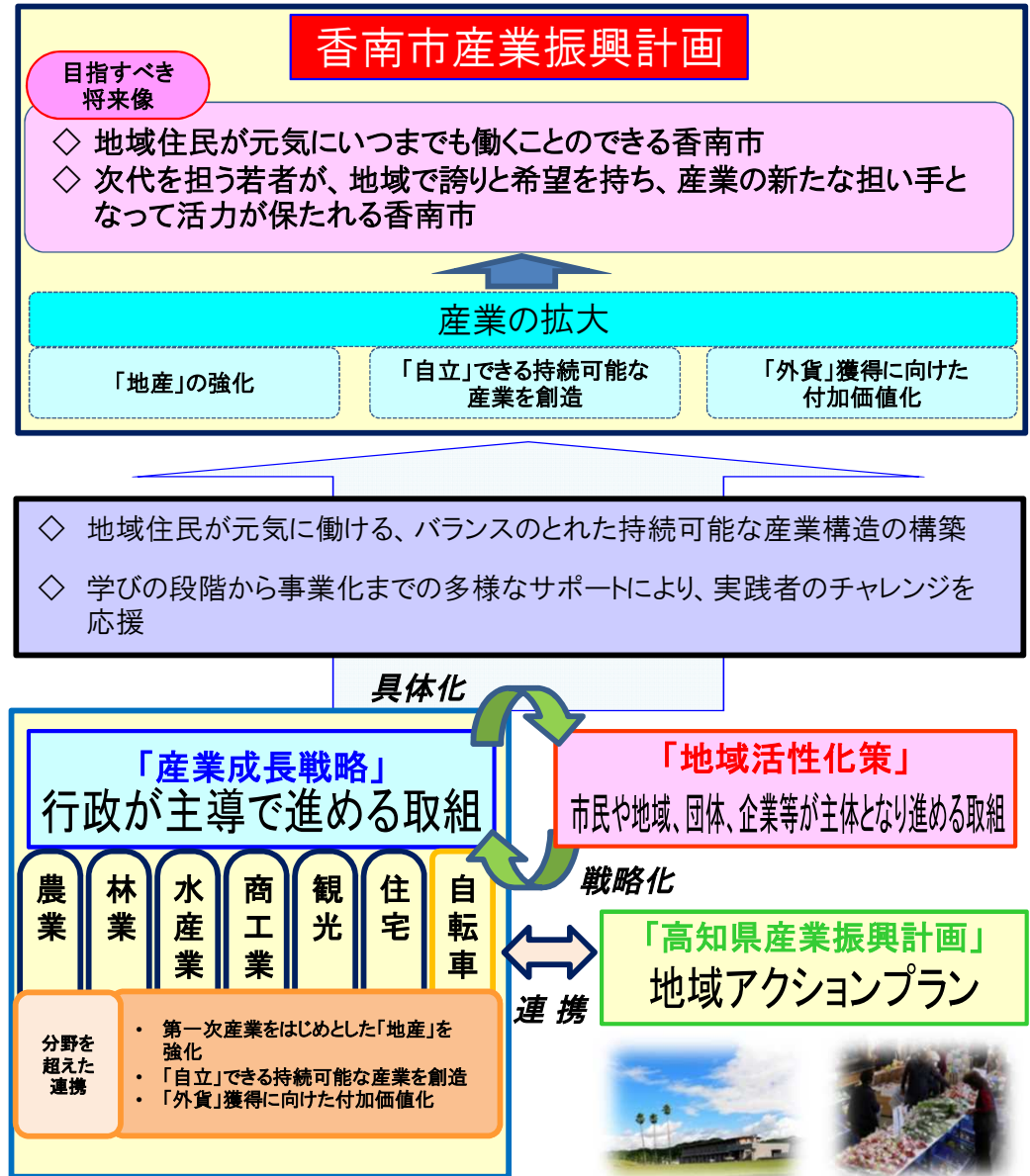
「香南市グランドデザイン」と連携して、香南市の特色を出すことができる横断的施策を位置付ける。

II 第1期香南市産業振興計画

香南市では、産業間・企業間・産業団体・市民・行政が連携し、農業・林業・水産業・商工業・観光・住宅の6つの分野別部会を構成し、行政が主導で進める『分野別産業成長戦略』と市民や地域・団体・企業等が主体となり進める『地域活性化策』による取り組みを推し進めることで、「地域住民が元気に働ける、バランスのとれた持続可能な産業構造の構築」に加え、「学びの段階から事業化までの多様なサポートにより、実践者のチャレンジを応援する体制」を築き、『地域住民が元気にいつまでも働くことのできる香南市』・『次代を担う若者が、地域で誇りと希望を持ち、産業の新たな担い手となって活力が保たれる香南市』の実現を目指すべく、平成27年度から平成31年度(令和元年度)までの5か年計画として、「香南市産業振興計画」を策定。

III 第1期香南市産業振興計画の成功イメージ

当計画では、香南市の更なる活性化を進めるために、① 第一次産業をはじめとした「地産」を強化し、② 「自立」できる持続可能な産業を創造するとともに、③ 「外貨」獲得に向けた付加価値化に取り組むことで、『産業の拡大』を図ることが求められている。



分野

これまでの主な取り組み

数値目標の推移等

さらなる強化の方向性

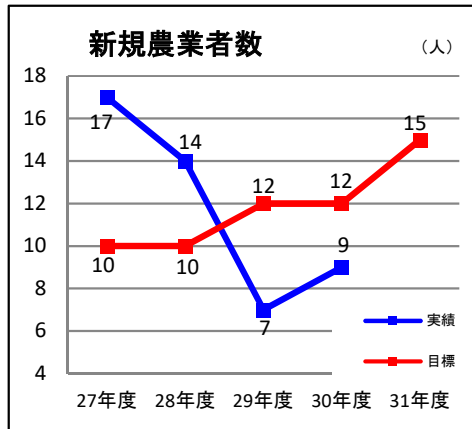
農業分野

- ◇ **基盤整備・防災整備の実施**
 - **農業生産基盤の充実**
 - ・排水機場施設整備、農業水利施設保全合理化事業、農地耕作条件改善事業等
 - **防災への対策**
 - ・農村地域防災事業、重油流出防止装置付燃料タンク設備事業等
- ◇ **経営改善・担い手の確保につなげる取り組み**
 - **担い手対策の促進**
 - ・担い手育成センター研修支援事業、新規就農推進事業、農業次世代人材投資事業、農業後継者推進事業、実践研修ハウス整備事業等
 - **経営の改善への対応**
 - ・園芸用ハウス整備事業、経営所得安定対策推進事業、農地中間管理事業、環境制御技術導入普及促進事業、産地パワーアップ事業等
 - **農産物のブランド化の推進と加工品の開発**
 - ・農山漁村振興交付金事業
 - **消費者の安心安全志向への対応**
 - ・産地消費推進協議会補助事業、信頼される産地づくり支援事業等
- ◇ **中山間地域の農業を継続する取り組み**
 - **農地の保全と活用の促進**
 - ・中山間地域等直接支払事業、多面的機能支払事業等
 - **有害鳥獣被害の対策**
 - ・鳥獣被害対策実施事業、有害鳥獣被害防止事業等



農業分野の「担い手の確保（新規農業者）」については、新規就農者の確保のための就農支援や補助制度は充実していますが、相談の中で今後の予定を立てられていない方も多く、就農まで至らないケースが多いのが現状です。第2期産業振興計画においても、新規就農者が増えるよう、就農支援や補助制度の拡充と就農に向けたイベントに参加し、周知を行っていきます。また、平成30年度に整備した実践型研修ハウスの利用が、より就農に近づきよう管理運営に努めていきます。平成31年3月には、果樹生産者やものべみらい等7機関が連携協定を結び、「未来の地域農業モデル」を官民一体で推進し、担い手育成や山北みかんを使った新たな商品開発、観光産業にも取り組んでいきます。

<数値目標>



※平成27・28年度は目標人数を達成できていたことから、平成28年度末に目標値の上方修正したが、翌29年度以降は、目標達成には至っていない。5年間の累計目標人数59人に対し、4年間で47人となっている。



○ 第2期の「数値目標」「戦略の柱」および「取組内容」

数値目標 ①：『新規就農者数の確保（累計 50人/R6年度末）』

農家の高齢化や担い手不足の課題に対しては、新規就農者の確保と地域の中核となる農業者の拡大に向けた取り組みや、就農に関する各種支援事業をバランス良く実施し、安定した持続可能な農業を目指し各事業に取り組み、「選ばれる産地の形成」を行い、『農で働き、農で稼ぐ香南市』としていく。

【戦略の柱①】◇ 経営改善・農地維持に向けた取り組み

第1期で行ってきた農地の保全と活用推進については、多面的機能支払事業や中山間地域等直接支払事業を活用する団体に推進を図っていく。新たに人・農地プランの実質化を推進し、農地所有者や耕作者に対して将来の経営意思、経営方法、後継者の有無等について調査し、その結果を基に地域で協議していく。そのことにより将来にわたって地域の農地を誰が担っていくのか、誰に農地を集積・集約化していくのかを地域の話合いで決め、地域の将来像を作り耕作放棄地の削減等に繋げていく。

【戦略の柱②】◇ 担い手の確保に向けた取り組み

東京や大阪で行われている移住フェアや農業人フェアへ参加し、香南市で農業を行う魅力を伝え、香南市での就農を促していく。また、様々な補助事業を活用し、経営の不安定な新規就農者の援助を行い、地域で暮らし、稼げる農業を確立。

【戦略の柱③】◇ 基盤整備・防災への取り組み

農地耕作条件改善事業を活用して基盤整備を行い、安定した農業経営が行えるようにすすめて行く。また、重油流出防止付燃料タンク整備事業を活用し、来る南海トラフ地震でも災害が拡大しないように対策をすすめていく。

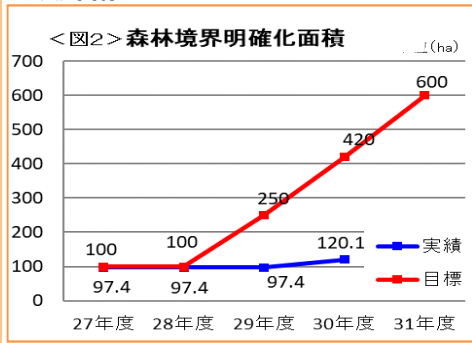
林業分野

- ◇ **基盤整備・の実施**
 - **林業の振興**
 - ・林道道路側溝整備事業等
- ◇ **森林資源保全の実施**
 - **林業の振興**
 - ・緊急間伐総合支援事業、森林整備地域活動支援事業、水源の森整備事業、林地台帳整備事業、森林整備推進事業等
- ◇ **木質バイオマスの活用**
 - **林業の振興**… 森林の活用事業等



林業分野の「森林境界明確化事業（団地化及び境界明確化）」については、事業主体の香美森林組合や高知県等関係機関との連絡調整において事業未実施の年度が続いていましたが、平成30年度から事業を再開できました。間伐事業を実施することで、植物の生態系の保全や災害の防止にもつながるので、引き続き、間伐事業に取り組むとともに、林業従事者の所得向上が図られるようにしていきたい。また、令和元年度から譲与される森林環境税（環境譲与税）の活用を検討していきます。

<数値目標>



○ 第2期の「数値目標」「戦略の柱」および「取組内容」

数値目標 ①：『間伐面積（累計 185ha/ R6年度末）』

従来より実施していた香美森林組合が事業主体である「緊急間伐総合支援事業」と、令和元年度に始まった森林環境譲与税を活用し、市が事業主体として実施する「森林管理制度間伐委託事業」により、保育・搬出間伐を実施し、森林整備を進めていく。これにより、木材の販売収入による経済効果に加え、森林の持つ「水源かん養機能」、「土砂崩れ等の災害防止や減災機能」、「生態系保全機能」等の維持・増進を図る。

【戦略の柱①】◇ 森林環境保全に向けた取り組み

補助事業や森林環境譲与税を活用し、間伐（保育・搬出）森林境界明確化、意向調査の実施する。

【戦略の柱②】◇ 啓発・普及への取り組み

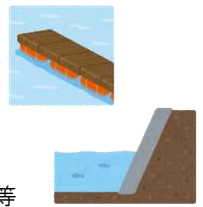
市内の小中学校と連携し、授業や行事に森林体験学習を取り入れ、木育イベントを開催し、子どもたちに山や木に親しむ機会を提供する。

分野	これまでの主な取り組み	各種生産額の推移等	さらなる強化の方向性
----	-------------	-----------	------------

水産業分野

◇ 改修整備の実施

- 水産業の振興
 - ・水産機能施設の整備、漁港施設の整備改修事業等



◇ 経営基盤強化の実施

- 水産業の振興
 - ・新規漁業就農者の確保、漁場の保全事業、漁業者の所得向上にむけた事業、観光漁業の促進等

◇ 生産・加工・流通・販売に向けた取り組み

- 水産業の振興 … 水産加工品流通販売事業等

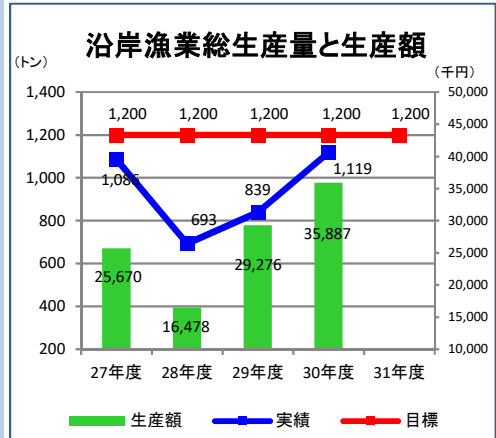


水産業分野の「沿岸漁業総生産量」については、平成28年度が693トと例年になく不漁であったが翌年度からは総生産量は上昇し、平成30年度には目標値（1,200ト）に大きく近づいています。

また、加工・流通・販売体制の強化に取り組んだ成果もあり、水産物の流通販売では、高知県漁協手結支所の販売額が大きく伸びる等により、生産額（漁業所得）も大きく上昇しています。

今後も加工・流通・販売体制を強化し、沿岸漁業総生産額の向上を図り、漁業者の所得向上による魅力ある水産業として、若者が住んで稼げる漁村を目指していきます。

<数値目標>



※平成29年度までは県漁協3支所の水揚げデータを実績としていたが、平成30年度からは市内民間企業の生産量を追加。県漁協3支所のみは平成30年度は1,058ト。



さらなる強化の方向性

○ 第2期の「数値目標」「戦略の柱」および「取組内容」

数値目標①：『沿岸漁業総生産額（累計1,475百万円/R6年度末）』

沿岸漁業総生産額の向上を図り、漁業者の所得向上による魅力ある水産業として、若者が住んで稼げる漁村を目指していく。

【戦略の柱①】 ◇ 地産の強化に向けた取り組み

生産に関する施設整備、漁業者の生産性の向上に向けた取り組みを行い、地産の強化へつなげることで、効率的な生産体制の構築による漁業生産の維持へとつなげていく。

【戦略の柱②】 ◇ 流通・販売の強化に向けた取り組み

他分野との連携による市内水産物のPR等、地域をあげての取り組みと地域からの発信、香南市ブランドの確立による認知度向上を進めていくことで、魅力ある水産業、若者が住んで稼げる元気な漁村を目指す。

【戦略の柱③】 ◇ 担い手の確保に向けた取り組み

担い手の育成、確保につながる取組等を行い、今後も持続可能な水産業を目指す。

商業分野

◇ 商業支援

○ 既存企業の育成・支援

- ・香南市緊急融資保証料補給金事業
- ・魅力ある商業地商店街づくり事業
- ・空き店舗等の活用事業
- ・創業支援事業
- ・創業支援利子補給金交付事業等



【商工業分野として】

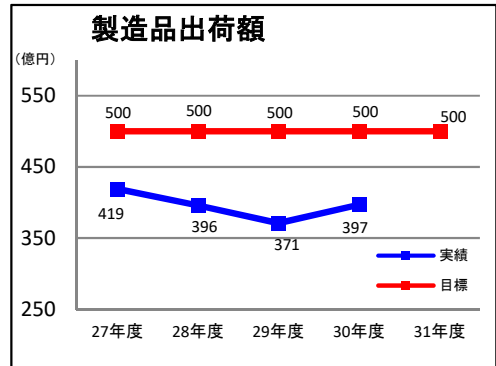
商工業分野の「製造品出荷額」は、基準年（平成26年度）が407億円（工業統計調査）であったことから、目標を500億円と設定しましたが、平成28年度からは減少し、目標値の達成は困難となっています。

減少の理由として、香我美町のルネサスエレクトロニクス（株）の撤退に伴う製造品の出荷額の減少が大きく影響していると思われます。

しかし、平成30年度には香南工業団地への企業誘致（5区画）も完了し、今後は目標値の達成に向け、誘致企業と既存企業の生産性向上につながる育成支援および川谷川谷工場用地への企業誘致に一層取り組んでいきます。

また、平成30年度には企業に関するさまざまな知見やネットワークを有するイシシ（株）と包括連携協定を締結しました。今後は連携の強化と事務系企業の誘致に積極的に取り組んでいきます。

<数値目標>



※第1期では、商業・工業分野を1つの分野（商工業分野）と捉え、数値目標は同じとなっている。

第2期では、両分野をさび分け、各々の数値目標を設定していく。



○ 第2期の「数値目標」「戦略の柱」および「取組内容」

数値目標①：『商業者数の維持（817事業者/R6年度末）』

増加している空き店舗のさらなる利活用や創業支援等により新たな商業者を生み出していくとともに、既存事業者への支援や後継者育成、事業承継の取り組みを進めることで、地域商業機能の維持を図る。

数値目標②：『新規事務系企業数（累計10企業/R6年度末）』

求職者の多くが求めている情報サービス等の事務系職種への企業誘致を図ることで、雇用の場を創出するとともに、オフィスとして、空き店舗等を活用することで、新しい経済循環を創出し、地域商業の賑わいへとつなげていく。

【戦略の柱①】 ◇ 空き店舗の活用に向けた取り組み

空き店舗の減少による、地域商業のにぎわいを創出させることで、市民の多様なニーズに応えられるまちへとつなげていく。

【戦略の柱②】 ◇ 担い手の確保に向けた取り組み

創業促進や後継者の育成、事業承継の推進により商業者数の維持を図る。

【戦略の柱③】 ◇ 商業支援の取り組み

既存事業者が持続的に発展できるように支援を実施する。

分野

これまでの主な取り組み

各種生産額の推移等

さらなる強化の方向性

工業分野

◇ ものづくりの基盤整備の実施

○ 企業誘致の促進

- ・香南工業団地整備事業
- ・香南工業団地企業立地促進事業
- ・企業立地優遇制度事業 等



◇ ものづくりへの支援

○ 既存企業の育成・支援

- ・香南市香我美町企業立地交流会の開催、香南市ものづくり会の開催
- ・香南市産業人材育成事業、香南市未来人材育成奨学金返還助成事業
- ・中小企業者の生産性向上支援事業 等



【商工業分野として】（再掲）

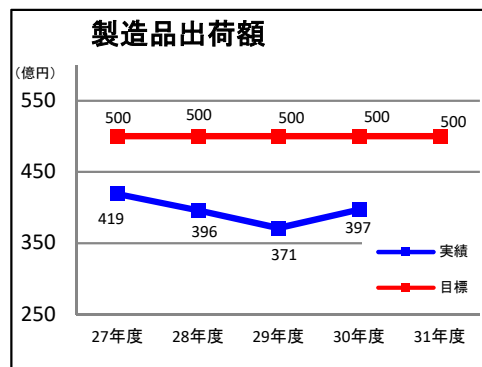
商工業分野の「製造品出荷額」は、基準年（平成26年度）が407億円（工業統計調査）であったことから、目標を500億円と設定しましたが、平成28年度からは減少し、目標値の達成は困難となっています。

減少の理由として、香我美町のルネサスエレクトロニクス（株）の撤退に伴う製造品の出荷額の減少が大きく影響していると思われます。

しかし、平成30年度には香南工業団地への企業誘致（5区画）も完了し、今後は目標値の達成に向け、誘致企業と既存企業の生産性向上につながる育成支援および川谷刈谷工場用地への企業誘致に一層取り組んでいきます。

また、平成30年度には企業に関するさまざまな知見やネットワークを有するイシン（株）と包括連携協定を締結しました。今後は連携の強化と事務系企業の誘致に積極的に取り組んでいきます。

<数値目標>



※第1期では、商業・工業分野を1つの分野（商工業分野）と捉え、数値目標は同じとなっている。第2期では、両分野をさび分け、各々の数値目標を設定していく。



○ 第2期の「数値目標」「戦略の柱」および「取組内容」

数値目標 ①：『製造品出荷額（累計1,800億円/R6年度末）』

数値目標 ②：『新規雇用者数（累計63人/R6年度末）』

香南工業団地の売等により、新たな企業誘致を行うための工場用地が不足しているため、新たな工業団地を整備することで、製造品出荷額の増加を目指すとともに、企業誘致による経済の活性化を促進する。

また、市内中小企業は本市の経済を支える重要な役割を果たしており、地域経済の真の発展のためには、大企業が生み出す経済効果に頼るだけでなく、中小企業の力がさまざまな分野で発揮され、市内取引・市内消費の拡大による循環によって産業が活性化することが必要不可欠であることから、引き続き既存企業の育成支援を重要施策として位置づけ、雇用の促進と生産性の向上を図るために必要な企業支援制度の見直しを行う。以上の点を踏まえ、第2期からは、「拡大再生産による雇用の拡大と賑わい創出」をスローガンに、製造品出荷額と新規雇用者数の増加を図り、「ものづくり企業が輝き躍動する香南市」を目指す。

【戦略の柱①】 ◇ ものづくりの基盤整備の取り組み

ものづくり企業の強化につなげるための企業立地を進め、雇用の創出、生産性の向上、税収の確保へとつなげることで、拡大再生産による雇用の拡大と地域の賑わい創出へとつなげていく。

【戦略の柱②】 ◇ 既存企業への育成・支援に向けた取り組み

市内企業を元気にする取り組みや人材の育成、確保につながる取組を行い、香南市ブランドの構築を進め、ものづくり企業が輝き躍動する香南市へとつなげていく。

観光分野

◇ 核となる観光拠点化の形成を進める

○ 新たな観光拠点の整備

- ・三宝山エリア観光拠点化事業、ヤ・シバパーク周辺地域の活性化事業 等

○ 観光の振興

- ・歴史を中心とした博覧会事業、加工施設間の連携、歌舞伎で町おこし事業
- ・道の事業、物部川エリア広域観光連携事業、市民と地域資源を総力したビジネス支援事業、地域まるごと旅行商品の開発販売及びランドオペレーター機能構築事業 等



◇ 人材の育成に向けた取り組み

○ おもてなしの向上

- ・まちの案内人会事業

◇ 国際観光の推進

○ 外国人観光客の受入体制づくり

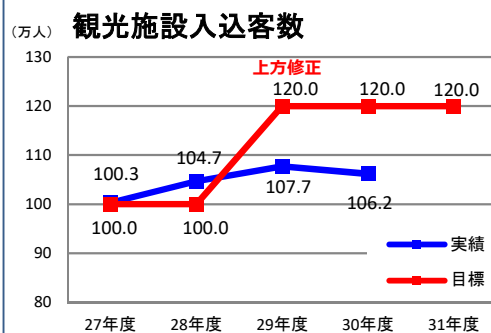
- ・外国人観光客受け入れ研修の開催 等

観光分野の「観光施設入込客数」については、既存のイベントに加え、スポーツツーリズムの推進に組み込み、新規顧客の開拓やリピーターの増加を目指すことと、SNSの活用等情報発信の仕組みを構築します。

また、平成30年度には観光拠点の磨き上げとして、ヤ・シバパークグランドデザインの策定とグランピングの整備を行いました。

今後は、それらを活かした公園内の施設の再整備や、スポーツツーリズムと連携したイベント等を開催するとともに、地域の自然や食材を生かした賑わいの拠点づくりを進めます。

<数値目標>



※平成27・28年度は目標を達成しており、「志国高知 幕末維新博（H29.3.4開催）」にあわせ、平成29年2月に100万人から上方修正を行っている。修正後は、目標達成には至っておらず、平成30年度においては、悪天候や豪雨災害等もあり、繁忙期の集客が減少したことから、前年度実績を下回っている。

○ 第2期の「数値目標」「戦略の柱」および「取組内容」

数値目標 ①：『観光施設入込客数

（累計569万人/R6年末）』

観光施設入込客数（交流人口）の増加より、観光施設及び観光関連施設のさらなる活性化に繋げていく。

【戦略の柱①】 ◇ 香南市の観光発信に向けた取り組み

香南市の情報発信を各媒体を活用し発信することで、香南市に来るきっかけづくりを行う。

【戦略の柱②】 ◇ 観光の育成に向けた取り組み

観光拠点の整備等に向けた協議や、物部川流域3市との連携を図るとともに、スポーツツーリズムを推進していくことにより、数値目標である観光施設入込客数へとつなげていく。

【戦略の柱③】 ◇ 受け入れ態勢の強化に向けた取り組み

おもてなしの向上や外国人が訪れやすい環境の整備を進め、数値目標である観光施設入込客数へとつなげていく。

分野 | これまでの主な取り組み | 各種生産額の推移等 | さらなる強化の方向性

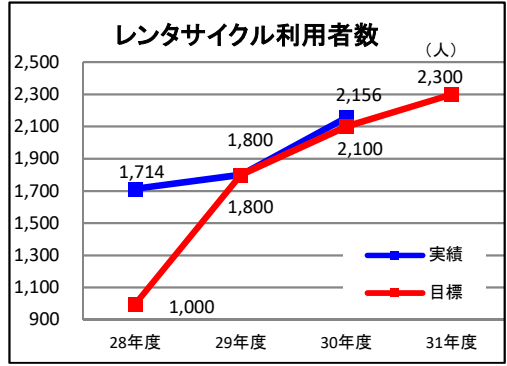
サイクリング ※非分野

- ◇ 自転車を活用した観光への取り組み
 - サイクリング事業
 - ・ イベント開催事業、PR事業、レンタサイクル利用促進事業
 - ・ サイクルオアシスの推進事業等
- ◇ 障がいのある方や高齢者へのスポーツの推進事業
 - サイクリング事業 … タンDEM自転車の利用促進事業
- ◇ 健康増進と環境に配慮した取り組み
 - サイクリング事業
 - ・ 健康ポイントを活用した事業、CO2の排出抑制事業
- ◇ 自転車の安全利用を推進する取り組み
 - サイクリング事業 … 交通マナーや交通事故等へのリスクに対する備えの取り組み



自転車を活用した観光への取り組みとして、平成30年度に地域おこし協力隊を雇用し、取り組み方向性の検討や平成30年9月より公道走行が解禁されたタンDEM自転車を活用したイベント等を開催し、取り組みの発信の強化等に取り組んできました。また、地域おこし協力隊が市内のサイクリストや関係者に声掛けし、新たなサイクリングを推進する団体「M a z e - C l e」を設立しました。第2期産業振興計画では、引き続き、地域おこし協力隊及び推進団体と連携し、「観光と健康」をキーワードに、サイクリストの誘客や市民の機運向上に努めるとともに、サイクルオアシス等の環境整備も進め、「サイクルツーリズム」の確立に向け取り組んでいきます。

<数値目標>



※サイクリング事業は観光分野から派生し、市独自の取り組みとして、平成30年度より数値目標を設定し取り組みを行っている。



○ 第2期の「数値目標」「戦略の柱」および「取組内容」

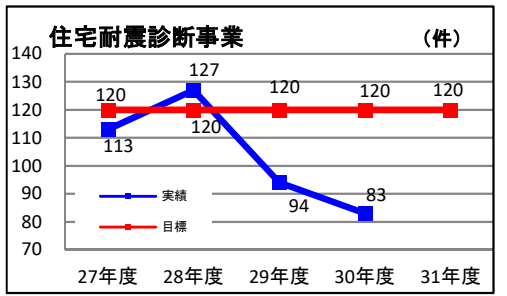
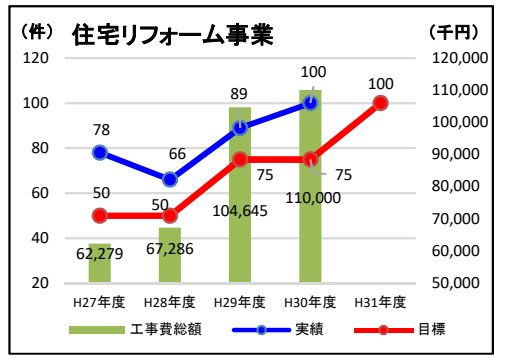
- 数値目標①：『サイクリングイベント・大会参加者数 (累計4,150人/R6年度末)』
- イベント・大会による市外からのサイクリスト誘致を進めることで、観光部会の施策であるサイクルツーリズムへの寄与。またそれによる市内飲食店等の収益増を図る。
- 数値目標②：『サイクルサポーター数 累計 30団体/R6年度末』
- 観光サイクリストの受け入れには地元の理解が必要であることから、「サイクルサポーター」制度を構築し、市民の機運向上へとつなげていく。
- 【戦略の柱①】 ◇ 観光 (サイクリスト誘致)
- イベント・大会開催やPRを通じて「市外からのサイクリストが来なくなるまち香南市」を目指す。また、実際に訪れてもらうことで、宿泊や飲食等で外貨を取得する。
- 【戦略の柱②】 ◇ 健康 (市民向け)
- 市民へ向けた自転車への理解や機運を高め、市全体で自転車に対する取り組みを推し進めていく。この取り組みを通じてサイクルサポーターとして市民参加型でサイクリストを迎える素地づくりを行う。
- 【戦略の柱③】 ◇ サイクリストのための環境整備 (ハード)
- 自転車にとって安全で走りやすくなる整備を行い、市内外に「サイクリストにやさしいまち」として定着を目指す。これをもって数値目標を達成しやすくさせる。

住宅分野

- ◇ 住環境の整備
 - 住環境の整備事業
 - ・ 住宅リフォーム制度の促進
- ◇ 市営住宅の整備
 - 市営住宅の整備事業
 - ・ 浄化槽等設置工事事業
- ◇ 住宅の耐震化
 - 住宅の耐震化事業
 - ・ 住宅耐震診断事業、住宅耐震改修事業
 - ・ コンクリートブロック塀等耐震対策事業
- ◇ 空き家対策
 - 空き家対策事業
 - ・ 老朽住宅等除却事業、移住定住促進空き家活用事業、空き家バンク事業、空き家改修事業費補助事業等



住宅分野では、住環境の整備として、市内に所有し居住する個人住宅を対象に、リフォームに対する支援を行ってきました。制度活用の需要は多く、地域経済の活性化及び生活環境の向上は図れており、引き続き、制度の周知に努めていきます。また、住宅の耐震化事業にも取り組んでおり、木造住宅耐震診断や耐震改修費への補助金も整備していますが、利用は目標まで至っていません。各地で震災等が発生した際には問い合わせも多くなる傾向があることから、震災前の対策として取り組んでいただけよう周知していく必要があります。空き家対策として、空き家バンクの登録や老朽住宅等除却事業を実施しており、目標を上回る実績となっています。老朽化した空き家は災害時の避難や延焼等多くの影響が想定されることから、引き続き、事業の周知と空き家の利活用を含めた移住施策と連携を図っていきます。



※住宅分野の取り組みから一部抜粋

○ 第2期の「数値目標」「戦略の柱」および「取組内容」

- 数値目標①『 - 』
- 住環境の整備及び空き家対策の取り組みを進め、まち・ひと・しごと創生総合戦略における「まち」の部分に寄与する。また、担い手や労働力の確保に向けた各分野の事業をバックアップするための住宅支援策を関係各課が連携して作り上げていく。
- 【戦略の柱①】 ◇ 住環境の整備を支援する取り組み
- 住環境のリフォーム整備を進め、生活環境の向上を図ることで、社会減(転出)抑制に努める。また、住環境の耐震化を図り、安心安全なまちづくりへとつなげる。移住施策や防災計画、産業の担い手確保の考え等を反映させる宅地整備に取り組み、新たな「人」の流れをつくる。
- 【戦略の柱②】 ◇ 空き家対策に向けた取り組み
- 老朽化した空き家の除却を図り、市民が安全に、かつ、安心して暮らせることのできる生活環境を維持する。また、利用可能な空き家は、ニーズに合わせてリフォーム等をする事で再生し、活用する方法もあることから、移住施策とリンクさせる取り組みを進めていき、社会増(転入)を図る。

これまでの取り組みから見えた課題



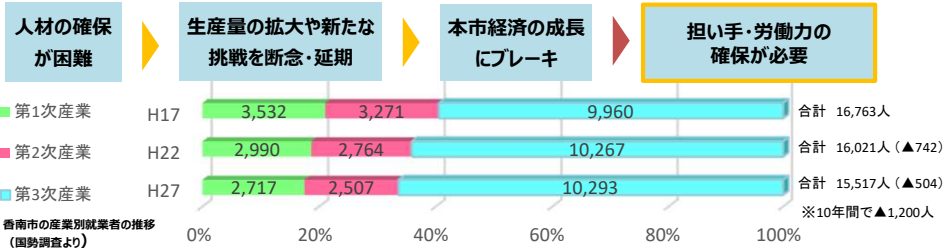
第1期香南市産業振興計画では、PDCAサイクルによる見直しや検証を行い、毎年度バージョンアップを図り、香南市が目指す「将来像」の実現に向け、取り組みを進めてきた。しかしながら、多くの分野では、掲げてきた「数値目標」が達成できていない状況であり、「目指す将来像」の実現には、さらなる努力が必要な状況である。

課題① 目指す「将来像」の実現に向けた取り組みの見直しの必要性

分野	各分野の「数値目標」	第1期 目標値(累計)※1	第1期 実績値(達成率)※2
農業	新規就農者数 (人)	44人	47人 (106.8%)
林業	林業境界明確化面 (ha)	420ha	120.11ha(28.6%)
水産業	沿岸漁業総生産量 (t)	4,800 t	3,737 t (77.9%)
商工業	製造品出荷額 (億円)	2,000億円以上	1,583億円(79.2%)
観光	観光施設入込客数(万人)	440万人以上	418.9万人(95.2%)
住宅	-	-	-

(現状及び課題) ※1・2はH27~H30の4年間の実績。
 ■ 第1期香南市産業振興計画では、目標値を達成した分野は1つであった。(H27~H30年度の4年間で対象)
 ■ 本計画策定当初に設定した「数値目標」を達成するために、各事業に取り組んでいるが、その事業が、直接的に「数値目標」に反映されていない傾向がある。

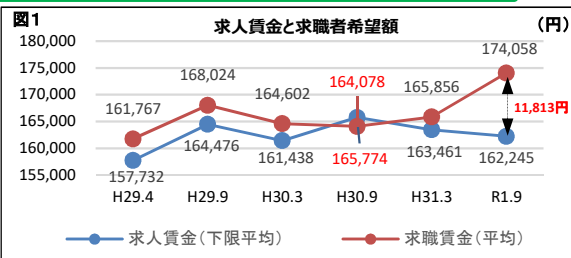
課題② 高齢化や若者の流出に伴う「生産力」の低下



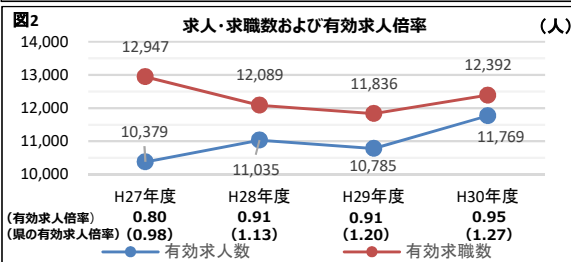
課題③ 魅力ある産業化の必要性

(現状及び課題)

■ 直近の求人賃金(企業等の提示額)と求職賃金(求職者が求める額)を比較するとH30.9に求職賃金が求人賃金を上回ったが、その後は下回り、R1.9時点では11,813円の差が生まれている。当計画を前進させ、魅力ある求人賃金へとつなげていく必要がある。(図1)



■ 直近4か年の有効求人倍率は0.80から0.95と上昇傾向にあるが、香南市圏内の有効求人倍率は1.0を下回っている。今後、市内の総人口及び生産年齢人口が減少していく中で、いかに人材確保へとつなげていか、また、担い手に代わる施策へと転化させていくかについて、当計画を前進させながら検討していく必要がある。(図2)



(図1・2はハローワーク香美所管内データより)

目指す将来像の実現に向けた取り組みの方向性
 - 第2期香南市産業振興計画の改定のポイント -

目指す将来像

- ◇ 地域住民が元気にいつまでも働くことのできる香南市
- ◇ 次代を担う若者が、地域で誇りと希望を持ち、産業の新たな担い手となって活力が保たれる香南市

改定のポイント 1

各分野の『既存の取り組み』をさらに強化！

他分野同士の連携強化！

- 香南市のさらなる活性化を進めるために、これまで取り組んできた『第一次産業をはじめとした「地産」を強化』『「自立」できる持続可能な産業を創造』『「外貨」獲得に向けた付加価値化に取り組み』をさらに強化し、『産業の拡大』を図る。
- 既存の取り組みに加え、他分野同士の連携や情報の共有をさらに強化し、『共通の課題』に対する解決策の検討や同じ方向性の事業にスピードをもって対応していく。
- これにより、香南市内に点在している様々な取り組みを線で結び、面として、一体となり、香南市の産業振興につなげる。

改定のポイント 2

「継続的に新たな付加価値の創造を促す仕組み」を拡大！

- 新たな付加価値の創造こそが経済成長の源泉です。本市経済の拡大傾向を先々にわたって確かなものとしていくためには、『継続的に新たな付加価値の創造を促す仕組み』が重要になります。(次頁参照)
- 5年後、10年後を見据え、各産業分野における『付加価値の創造を促す仕組み』を、より多く、より質高く創り出します。

ポイント1、2により「既存の取り組み」のバージョンアップを図る！

他分野同士の連携等を強化！

連携による新たな付加価値の創出

他分野同士の連携を強化し「新たな付加価値の創出」を生むことで、既存の取り組みを前進させ、更なる連携へとつなげていく。

既存の取り組みが前進！



地域住民が元気にいつまでも働くことのできる香南市



改定のポイント 3

担い手の確保・人材育成策のさらなる強化！

- 先々にわたる本市経済の発展の礎を築くためにも、各分野での担い手確保と人材育成が必要不可欠。人口減少がある中でも、深刻化する人手不足・後継者不足に速やかに対処していく。
- 各分野の現状を把握し対策を講じるとともに、他分野と連携して「担い手・労働力」に向けた取り組みを強化。
- 「次代を担う若者(子供たち)等」を対象とした事業に組み込み、将来の「市内産業の担い手」へとつなげていく。
- 担い手に代わる先進技術の導入等に向けたサポートの実施も視野に取り組みを強化。

改定のポイント 4

各産業の魅力化に向けた取り組みをさらに強化！

- 各分野の所得向上に向けた取り組みの強化。
- 各分野の魅力の発信を強化。
- 新たな産業・企業等の誘致に向けた取り組みを強化。

ポイント1、2により生み出された『仕事』と、ポイント3、4により生み出された『担い手(人材)』とをより確実につなげていく！

『仕事』×『担い手(人材)』



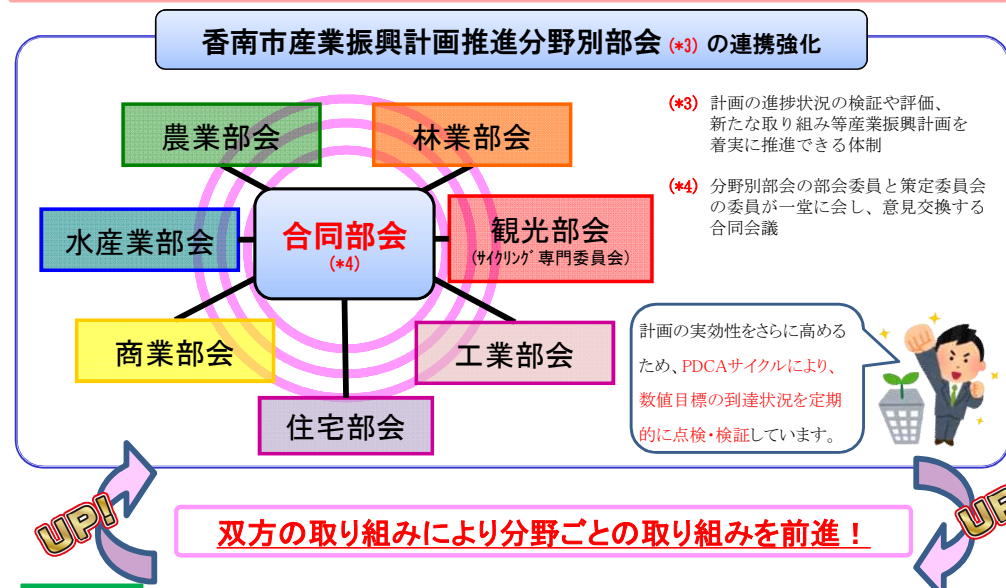
次代を担う若者が、地域で誇りと希望を持ち、産業の新たな担い手となって活力が保たれる香南市



5-2 第2期香南市産業振興計画の策定に向けて（基本的な考え方）

改定のポイント1 各分野の『既存の取り組み』をさらに強化！ 他分野同士の連携強化！

➤ 香南市では、計画の実効性をさらに高めるため、PDCAサイクルによる数値目標の到達状況の点検・検証等に引き続き取り組むことに加え、他分野同士の連携や情報の共有をさらに強化し、スピードをもって取り組むことで、香南市に点在している様々な産業の取り組みを「線」で結び、各産業が一体となって『香南市の産業振興』につなげていく。



改定のポイント2 「継続的に新たな付加価値の創造を促す仕組み」を拡大！

➤ 本市経済の拡大傾向を先々にわたって確かなものとしていくためには、「継続的に新たな付加価値の創造を促す仕組み」が重要。
 ➤ 5年後、10年後を見据え、各産業分野における「付加価値の創造を促す仕組み」を、より多く、より質高く創り出していきます。

継続的に新たな付加価値の創造を促す仕組み（例）

- | | | |
|-------|---------------------------|------------------|
| 量的な拡大 | ☆ ハード設備の充実に向けた取組 | ☆ ソフト機能の充実に向けた取組 |
| | ☆ 他分野・産業との連携に向けたサポート体制の充実 | |
| | ☆ 市外からの企業誘致の実現に向けた支援策の充実 | |
| | ☆ 小さな取り組みの吸い上げを強化 等 | |
| 質的な拡大 | ☆ 新技術導入の促進 | ☆ 外商等の促進（外貨獲得等） |
| | ☆ 新規事業への積極的支援 | |
| | ☆ 付加価値化に向けた事業の支援 | |
| | ☆ 体験等を発信する機会の強化 等 | |

改定のポイント3 担い手の確保・人材育成策のさらなる強化！

➤ 先々にわたる本市経済の発展の礎を築くためにも、各分野での担い手確保と人材育成が必要不可欠。人口減少がある中でも、深刻化する人手不足・後継者不足に速やかに対処していく。
 ➤ 各分野の現状を把握し対策を講じるとともに、他分野と連携して「担い手・労働力の確保」に向けた取り組みを強化。
 ➤ 「次代を担う若者（子供たち）等」を対象とした事業に取り組み、将来の「市内産業の担い手」へとつなげていく。
 ➤ 担い手に代わる先進技術の導入等に向けたサポートの実施も視野に取り組みを強化。

各分野の取り組みを強化

【農業】	農業次世代人材投資事業・担い手育成支援事業・農業後継者推進事業 等
【林業】	木工育事業
【水産業】	学校給食への納入事業（食育）・高知県漁業就業支援センターとの連携 等
【商業】	事務系企業の誘致・起業支援・事業承継・未来人材育成奨学金返還助成事業 等
【工業】	香南市産業人材育成事業・合同企業説明会の実施・ものづくり教育推進事業 等
【観光】	外国人観光客の受入体制づくり
【サイクリング】	サイクルサポーター事業・タンDEM自転車パイロット育成事業 等

改定のポイント4 各産業の魅力化に向けた取り組みをさらに強化！

➤ 各分野の所得向上に向けた取り組みの強化。
 ➤ 各分野の魅力の発信を強化。
 ➤ 新たな産業・企業の誘致等に向けた取り組みを強化。

各分野の取り組みの強化

【農業】	園芸用ハウス整備事業・環境制御技術導入普及推進事業・農産物のブランド化事業 等
【水産業】	沿岸漁業設備投資促進事業・市内水産物の魚価向上・シラスの加工販売額 等
【商業】	商店街等振興計画の策定・空き店舗バンク事業・香南カーニバル事業・地場産品販売促進事業 等
【工業】	新工業団地整備事業・企業誘致条例の改正・中小企業者の生産性向上支援事業 商談会開催事業 等
【観光】	香南市観光の発信・地域と連携した高知県産ワインのブランド化の推進事業 マリンスポーツの推進 等
【サイクリング】	新たな大会の創出（三宝山ヒルクライム） 等

ポイント1、2により生み出された『仕事』と、ポイント3、4により生み出された『担い手（人材）』とをより確実につなげていく！！



目指す将来像

- ◇ 地域住民が元気にいつまでも働くことのできる香南市
- ◇ 次代を担う若者が、地域で誇りと希望を持ち、産業の新たな担い手となって活力が保たれる香南市

目指す将来像の実現！

戦略

より力強い「産業の拡大」を図るため、分野を超えた連携の強化、新たな付加価値化の創出、担い手の確保、人材育成策を推進することで、所得の向上につなげ、魅力ある産業化に向けた取り組みを進める。

計画全体を貫く目標 ①

- 1次産業の安定生産の体制づくり、生産量を増やし、市の総生産額を上げる。
地場生産品の安定 → 市内の経済活動の活性化

(今後5年の見通し)

- 担い手の確保・人材育成策による「人材」の確保。
- 魅力ある産地化に向けた取り組みを強化し、各産業の所得向上につなげる。
- 各産業における魅力の発信を強化。

- 魅力ある第一次産業を作り上げていくことで、担い手の確保と産業の拡大を図り、地場産業の安定につなげる。
- 魅力ある産地化を進め、発信することで担い手の確保に繋げていく。

計画全体を貫く目標 ②

- バランスのとれた産業構造として、就業人口、従業人口が整い、住と職がバランスよく、住みながら働く場・雇用の確保ができる

(今後5年の見通し)

- 企業誘致等の取り組みによる「働く場」づくりの創出。
- 有効求人倍率の上昇。
- 各産業の取り組みにより生産額が増加。
- ものづくりの地産地消の徹底により、市外へのお金の流出を食い止める。

- 産業振興計画による魅力ある雇用の場を創出していくことで、雇用の場が増え、香南市で育った若者が市内で働くことのできる状況を目指す。
- さらに、市外からの受入も可能にすることで、人口社会増に繋げていく。

引き続き、計画の実効性をさらに高めるため、PDCAサイクルにより、数値目標の到達状況を定期的に点検・検証を行います。



◎ 地域住民が元気に働ける、バランスのとれた持続可能な産業構造の構築
◎ 学びの段階から事業化までの多様なサポートにより、実践者のチャレンジを応援する

各分野の戦略の柱

分野を代表する目標

数値目標

5年後 (R6年度末)

直近値 H27～30年度実績

産業振興計画開始時目標 (H27)

農業分野	林業分野	水産業分野	商業分野	工業分野	観光分野	サイクリング専門委員会	住宅分野
<ul style="list-style-type: none"> ◆ 担い手確保に向けた取り組み ◆ 経営改善・農地維持への取り組み ◆ 基盤整備・防災への取り組み 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 森林環境の保全に向けた取り組み ◆ 啓発・普及への取り組み 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 地産の強化に向けた取り組み ◆ 流通・販売の強化に向けた取り組み ◆ 担い手の確保に向けた取り組み 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 空き店舗の活用に向けた取り組み ◆ 担い手確保に向けた取り組み ◆ 商業支援の取り組み 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 企業誘致の促進に向けた取り組み ◆ 既存企業の育成・支援に向けた取り組み 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 香南市の観光発信に向けた取り組み ◆ 観光の育成に向けた取り組み ◆ 受け入れ態勢の強化に向けた取り組み 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 環境の整備に向けた取り組み ◆ 市民を対象とした健康づくりに向けた取り組み ◆ サイクリングを中心とした観光に向けた取り組み 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 住環境の整備を支援する取り組み ◆ 空き家対策に向けた取り組み
<p>新規就農者数 (※1)</p> <p>50人 (累計)</p>	<p>間伐面積 (※2)</p> <p>185a (累計)</p>	<p>沿岸漁業総生産額 (※3)</p> <p>1,475百万円 (累計)</p>	<p>事業者数 (※4)</p> <p>817 事業者</p> <p>新規事務系企業数 (※5)</p> <p>10企業 (累計)</p>	<p>製造品出荷額 (※6)</p> <p>1,800億円 (累計)</p> <p>新規雇用者数 (※7)</p> <p>63人 (累計)</p>	<p>観光施設入込客数 (※8)</p> <p>569万人 (累計)</p>	<p>サイクリングイベント参加者数 (※9)</p> <p>4,150人 (累計)</p> <p>サイクルサポーター数 (※10)</p> <p>30団体 (累計)</p>	-
47人	112ha	1,073百万円	813事業所 (H30実績)	1,853億円	418.9 万人	-	-
10人/年	-	-	-	500億円/年	100万人/年	-	-

※1 高知県中央東農業振興センターが毎年公表する前年度の新規就農者数
 ※2 緊急間伐助成金支援事業と森林管理制度間伐委託業務の合計数
 ※3 高知県漁協(手船・赤岡・吉川)及び漁協水揚げデータに反映されない法人経営体の生産額合計
 ※4 香南市商工会が毎年高知県へ報告している日本標準産業分類(大分類)のF～Q・Rに分類される事業所数
 ※5 香南市内の空き店舗等を活用し、香南市在住の方を雇用することを前提に、音部圏等から進出していた新規事務系企業数
 ※6 毎年公表される前年度の製造品出荷額
 ※7 香南市内に立地しているものづくり企業に新たに雇用された香南市在住の方の数
 ※8 観光庁の観光客入込客統計に関する共通基準に則った、年間1万人以上の乗客のある下記施設の入込客数。(暦年1-12月の合計)
 ・対象施設(10施設) ①県立のいち動物公園 ②月見山こどもの森 ③ヤ・シヤパーク ④絵金蔵 ⑤天然色市場 ⑥やすらぎ市 ⑦あぐりのさと ⑧黒潮温泉 ⑨創造広場「アクトラン」 ⑩土佐カントリークラブ
 ※9 対象イベント大会 ①三宝山ヒルクライム、②ツール・ド・トレン、③ポタリング、④シクロクロスカップ、⑤3市ロングライド(調整中 ※ R3より)、⑥健康サイクリング(市民向け)
 ※10 香南市の自転車利用促進の考えに参画し、活動する事業所・団体(事業所も団体としてカウント表記)

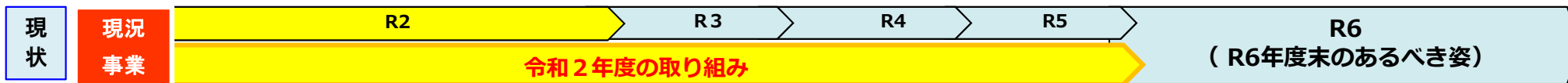


香南市産業振興計画 分野別部会の取組について (令和2年度版)

・ 農業分野	7-1
・ 林業分野	7-2
・ 水産業分野	7-3
・ 商業分野	7-4
・ 工業分野	7-5
・ 観光分野	7-6
・ サイクリング分野	7-7
・ 住宅分野	7-8
・ 各分野における『産業人材の育成・確保』に向けた取り組み	7-9

数値目標（単位）	基準値 (H30年度末実績)	R2	R3	R4	R5	R6	最終目標値
① 新規就農者数（人/年）	9	10	10	10	10	10	50人（5年間累計）

（備考） 新規就農者数：高知県中央東農業振興センターが毎年公表する前年度の新規就農者数。

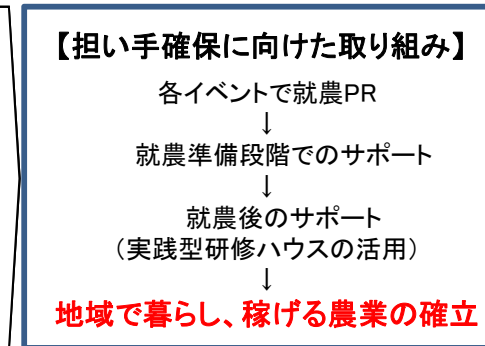


（R2年度）
「新規就農者数
10人の獲得」
の獲得」

担い手確保に向けた取り組み

○ 担い手確保に向けた取り組み

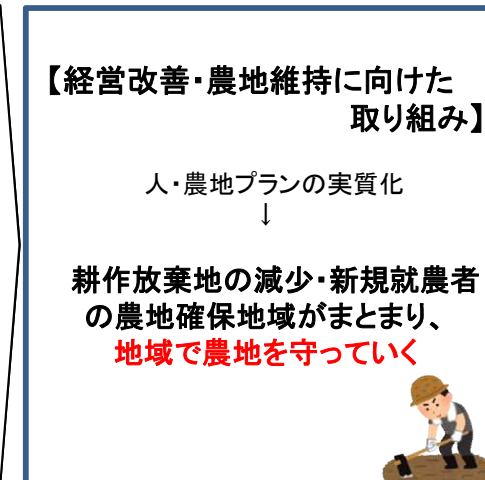
1. 農業次世代人材投資事業（準備型）：新規就農者の確保及び育成 [実施主体：高知県・香南市]
2. 農の雇用事業：雇用就農者の確保及び育成 [実施主体：高知県]
3. 担い手育成支援事業
 - 専門農育区分：新規就農者の確保及び育成 [実施主体：高知県・香南市]
 - 後継者育成支援区分：農業後継者の確保及び育成 [実施主体：高知県・香南市]
4. 農業次世代人材投資事業（開始型）：新規就農者の初期費用の負担の軽減 [実施主体：高知県・香南市]
5. 農業後継者推進事業：農業後継者の確保及び育成を図る [実施主体：香南市]



経営改善・農地維持に向けた取り組み

○ 経営改善・農地維持に向けた取り組み

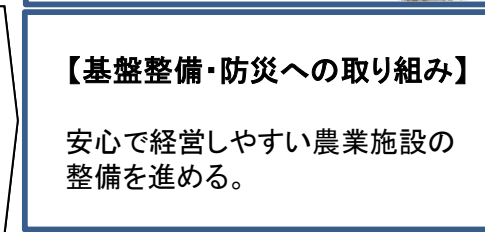
1. 園芸用ハウス整備事業：新規就農・規模拡大する農業者のハウス建設に対し助成 [実施主体：JA高知県]
2. 環境制御技術導入普及促進事業：炭酸ガス発生装置等の導入に対し助成 [実施主体：香南市]
3. 産地パワーアップ事業：産地の高収益化に向けた取り組みを総合的に支援 [実施主体：香南市]
4. 人・農地プランの実質化：地域にある農地や後継者の現状を把握し、未来に向けた設計 [実施主体：香南市・農業委員会]
5. 農産物のブランド化の推進：所得の向上や雇用促進、地域活性化を図る [実施主体：香南市農業活性化地域協議会・JA生産者部会・(株)山北みらい]
6. 中山間地域等直接支払事業：中山間地域の農業生産条件が不利な地域の保全、活用を推進 [実施主体：香南市]
7. 多面的機能直接支払事業：農地や農業用水路等の保全と質的向上 [実施主体：活動組織]
8. 有害鳥獣被害対策実施事業：有害鳥獣を駆除して農地を守る [実施主体：猟友会等]
9. 有害鳥獣被害防止事業：有害鳥獣が農地に入らないように、柵の設置を推進 [実施主体：香南市]



基盤整備・防災への取り組み

○ 生産基盤の整備・防災への取り組み

1. 耕作条件改善事業：曾我堰改修工事・農道水路施工、東佐古地区水路改修工事 [実施主体：香南市]
2. 重油流出防止付燃料タンク整備事業：重油タンク転倒時の流出防止付き燃料タンクの整備 [実施主体：JA高知県等]

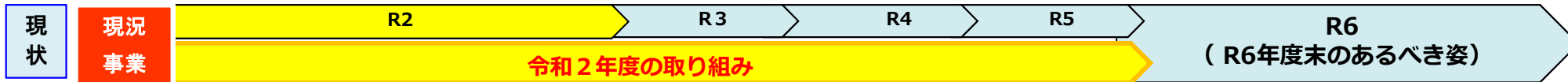


★R2年度 新規事業・バージョンアップ：人・農地プラン実質化（バージョンアップ）
 ☆R2年度 他分野との連携：みかん×サイクリング等の取り組みを広げていくことで、農産物の推進とサイクリング事業の強化を図る（サイクリング分野）

（R6年度末）
新規就農者数
累計 50人の達成へ！

数値目標（単位）	基準値 (H30年度末実績)	R2	R3	R4	R5	R6	最終目標値
① 間伐面積(ha)	34.57	25	30	35	45	50	185ha（5年間累計）

（備考）間伐面積 = 「緊急間伐総合支援事業」と「森林管理制度間伐委託事業」の合計数





（R2年度）「間伐面積 25ha の実施」

森林環境の保全に向けた取り組み

○ 森林の管理

- **新** 1. 意向調査の実施 [事業主体・香南市]
森林所有者に、整備されていない森林の管理を市に委ねることについての意向調査を実施（森林環境譲与税を活用）
- 森林境界明確化事業**
- **新** 1. 森林管理制度森林境界明確化委託事業
森林境界明確化 [事業主体・香南市]
- 間伐事業**
- 1. 緊急間伐総合支援事業
保育・搬出間伐 [事業主体・香美森林組合]
- **新** 2. 森林管理制度間伐委託事業
保育間伐 [事業主体・香南市]

【森林環境保全に向けた取り組み】

意向調査の実施により整備されていない森林の把握、管理体制を整備する。

↓

森林境界明確化を実施し、施業地の団地化につなげる。

↓


間伐を実施することにより森林の持つ
「水源かん養機能」
「減災機能」
「生態系保全機能」等の維持・増進につなげる。

間伐面積 185ha (5年間累計)

啓発・普及への取り組み

○ 山や森林に親しむ機会の提供

- 1. 木育事業
- **拡** 市図書館等で子どもたちを対象とした木育イベントを開催
- 市内の保・幼・小・中学校の授業や行事での森林体験学習の実施（森林環境譲与税を活用）
- 市主催以外の木工育・林業関係のイベントの周知 [事業主体・香南市・高知県森と緑の会等]



【啓発・普及への取り組み】

香南市内の子どもたちの山や木に対する知識、関心の向上

（R6年度末）「間伐面積累計 185ha の実施」の達成へ！

★ R2年度 新規事業・バージョンアップ【PICK UP!】
 ・意向調査の実施（新規） ・森林管理制度森林境界明確化委託事業（新規） ・森林管理制度間伐委託事業（新規） ・保・幼・小・中学生を対象とした森林体験学習（拡充）

☆ R2年度 他分野との連携【PICK UP!】
 ・香南市内の保幼小中学校等と連携した木育事業

新 数値目標 (単位)	基準値 (H30年度末実績)	R2	R3	R4	R5	R6	最終目標値
沿岸漁業総生産額(百万円/年)	358	285	290	295	300	305	1,475百万円(5年間累計)

(備考) 沿岸漁業総生産額 : 高知県漁協各支所(手結・赤岡・吉川)及び漁協水揚げデータに反映されない法人経営体の生産額の合計。



★ R2年度 新規事業・バージョンアップ【PICK UP!】: 利子補給制度の創設(新規) ・担い手確保(バージョンアップ)

☆ R2年度 他分野との連携【PICK UP!】: 市内水産物の利活用(商業・観光部会・サイクリング専門委員会)、担い手の確保(農業・林業部会) 等

数値目標(単位)	基準値 (H30年度末実績)	R2	R3	R4	R5	R6	最終目標値
① 商業者数(事業所)	813	813	814	815	816	817	817事業所(R6年度末)
② 新規事務系企業数(企業)	-	2	2	2	2	2	10企業(5年間累計)

(備考) 商業者数 : 香南市商工会が毎年高知県へ報告している日本標準産業分類(大分類)のF~O・Q・Rに分類される事業所数
 新規事務系企業数 : 香南市内の空き店舗等を活用し、香南市在住の方を雇用することを前提に、首都圏等から進出していただく新規事務系企業数

現状

現況事業

R2 → R3 → R4 → R5 → R6

令和2年度の取り組み

R6
(R6年度末のあるべき姿)

(令和2年度) 商業者数 813 事業者・新規事務系企業数 2 企業

空き店舗活用に向けた取り組み

○ 空き店舗対策

- 1.商店街等振興計画の策定 : 地域商業を活性化させるための振興計画の策定
[実施主体: 香南市、香南市商工会、地域商業者]
- 2.空き店舗等実態調査の実施 : 市内全域の空き店舗数等を調査
[実施主体: 香南市、香南市商工会]
- 3.空き店舗バンク事業 : 空き店舗情報を一元化し発信する仕組みを構築 [実施主体: 香南市]
- 4.空き店舗等対策事業 : 空き店舗を活用した創業を支援 [実施主体: 香南市、香南市商工会]
- 5.空き店舗等を活用した事務系企業の誘致
包括協定を締結したイシン(株)と連携した事務系企業の誘致 [実施主体: 香南市]

担い手の確保に向けた取り組み

○ 担い手の確保・育成

- 1.事業承継の推進 : 事業者へのヒアリング調査及び支援機関の紹介 [実施主体: 市・商工会]
- 2.人材の確保 : 未来人材育成奨学金返還助成事業の要件緩和 [実施主体: 香南市]
- 3.創業支援事業計画の見直し : 認定期間の終期到来による見直しを実施 [実施主体: 市・商工会]
- 4.創業支援利子補給金事業 : 創業時の経済的負担を緩和し、創業を促進 [実施主体: 香南市]

商業支援

○ 商業支援

- 1.緊急融資保証料補給金事業 : 事業者の経済的負担の軽減を図る [実施主体: 香南市]
- 2.各種セミナーの開催 : 経営や事業継承等に関するセミナーの実施 [実施主体: 商工会・市]
- 3.香南カーニバル : 市内飲食店舗の来店機会創出及びPRにつなげる [実施主体: 商工会]
- 4.地場産品販売促進事業 : ギフトカタログやふるさと納税応援寄付金を通じて地元事業者の売上増につなげる。 [実施主体: 香南市観光協会・市]

【空き店舗の活用】

- ・ 空き店舗を活用した創業 10件
- ・ 新規事務系企業 累計 10企業

市内の空き店舗が減少し、地域商業のにぎわいを創出させることで、市民の多様なニーズに応えられるまち

【担い手の確保】

- ・ 創業者数 累計 30人
- ・ 事業承継事業者数 累計 4件

創業促進や事業承継の推進等により地域商業を維持しているまち

【商業支援】

- ・ 地場産品販売額 13,020万円

既存事業者が持続的に発展できるまち

(R6年度末) 数値目標

① 商業者数 累計 817 事業所

② 新規事務系企業数 累計 10 企業

の達成へ!

★ R2年度 新規事業・バージョンアップ : 商店街等振興計画策定(新規)・空き店舗等実態調査(新規)・空き店舗バンクの創設(新規)

☆ R2年度 他分野との連携 : 人材ニーズの掘り起こし及び発信(農業/林業/水産業/工業/観光/移住)

数値目標（単位）	基準値 (H30年度末実績)	R2	R3	R4	R5	R6	最終目標値
① 製造品出荷額（億円）	397	320	340	360	380	400	1,800億円（5年間累計）
新 ② 新規雇用者数（人）	—	5	8	19	16	15	63人（5年間累計）

（備考）① 製造品出荷額：毎年公表される前年度の製造品出荷額
 ② 新規雇用者数：香南市内に立地されているものづくり企業に新たに雇用された香南市在住の方の数



（R2年度）製造品出荷額等 320億円・新規雇用者数 5人

（R6年度末）数値目標
 ① 製造品出荷額等 累計 1,800億円以上
 ② 新規雇用者数 累計 63人以上
 の達成へ！

企業誘致の促進

新 ○ ものづくりの基盤整備

- 1. 新規工業団地整備事業** [実施主体：香南市・高知県] 【候補地選定と適地調査の実施】
新規工業団地を整備するため、候補地の選定と適地調査を行う
- 2. 川谷刈谷地区工場用地の分譲** [実施主体：香南市] 【企業誘致1社】
旧ルネサス東駐車場用地への企業誘致を行い、雇用の促進と経済の活性化を図る

令和2年度より分譲開始！

○ 企業誘致支援制度の見直し

拡 1. 香南市企業誘致条例の改正 [実施主体：香南市] 【条例の改正】
立地企業の設備投資に伴う負担を軽減し、雇用の促進と生産性の向上に繋がる支援制度の見直しを行う

【企業誘致の促進】

○ものづくり企業の強化につながる企業立地

○雇用の創出・生産性の向上・税収の確保

拡大再生産による雇用の拡大と地域の賑わい創出

既存企業の育成・支援

○ 中小企業の技術向上&経営革新の支援

- 1. 商談会開催事業** [実施主体：香南市・高知県産業振興センター] 【商談件数 50件】
高知県産業振興センターが主催する商談会に参加し、市内中小企業の受注拡大を図る
- 2. 中小企業者の生産性向上支援事業** [実施主体：香南市] 【先端設備導入計画認定件数 30件】
新規設備の支援を継続し、企業の事業拡大、雇用の創出、地域経済の活性化を目指す
- 3. 香南市産業人材育成事業** [実施主体：香南市] 【利用件数 5件】
企業訪問や懇談会等で事業紹介を行い、利用促進を図る
- 拡** 4. 香南市未来人材育成奨学金返還助成事業 [実施主体：香南市] 【利用件数 5件】
新卒者のみから中途採用も対象とすることで利用の促進を図る
企業訪問や懇談会での事業紹介を行うとともに、商工会や県内の学校と連携し、利用促進を図る
- 5. 合同企業説明会の開催** [実施主体：香南市・高知県] 【合同企業説明会の開催 2回】
市内施設や城山高等学校で合同企業説明会を開催することで、雇用の促進と若者の地元定住を図る
- 新** 6. ものづくり教育推進事業 [実施主体：香南市] 【工場見学及びものづくり体験学習の実施 1回】
次代を担う小中学生や高校生の工場見学の開催および「ものづくり体験学習」を実施する

令和2年度よりKPIに追加！

【既存企業の育成・支援】

○市内企業を元気にする取組を重視（技術向上・製品開発支援）

○人材の育成・確保・活用支援

○企業交流の基盤づくり

○次代を担う世代のものづくり教育の推進

香南ブランドの構築

優れた技術・製品を全国・世界へ！

ものづくり企業が輝き躍動する香南市！

★ R2年度 新規事業・バージョンアップ【PICK UP!】
 ・新規工業団地整備事業（新規） ・香南市企業誘致条例の改正（拡充） ・香南市未来人材育成奨学金返還事業（拡充） ・ものづくり教育推進事業（新規）
 ★ R2年度 KPI追加事業：商談会開催事業

数値目標 (単位)	基準値 (H30年末実績)	R2	R3	R4	R5	R6	最終目標値
観光施設入込客数 (万人)	106.2 (11施設)	107	110	114	117	121	569万人 (5年間累計)

(備考) 観光施設入込客数 : 観光庁の「観光客入込客統計に関する共通基準」に則った、年間1万人以上の来客のある下記施設の入込客数。(暦年 1-12月の合計)

対象施設(市内10施設) : ①県立のいち動物公園 ②月見山こどもの森 ③ヤ・シィパーク ④絵金蔵 ⑤天然色市場 ⑥やすらぎ市 ⑦あぐりのさと ⑧黒潮温泉 ⑨創造広場「アクランド」 ⑩土佐カントリークラブ



現状

香南市観光の発信

〇 情報発信手段の効果的な活用

- 香南市のPR活動 【実施主体：(一社)香南市観光協会】
日曜市や高知新港への出店等イベントでの観光・特産品PRを行い、認知度向上につなげる。
- HP等を活用した観光情報の発信 【実施主体：香南市、(一社)香南市観光協会】
- SNSを利用した情報発信 【実施主体：香南市、(一社)香南市観光協会】
様々なツールを用いた情報発信を行い、香南市の観光情報・イベント情報をリアルタイムで発信

【香南市観光の発信】

香南市の観光情報を各媒体を活用して広く発信し、認知度の向上や観光客の増加につなげる。

☞ **観光施設入込客数 累計 569万人へ**

(R2年) 「観光施設入込客数 107万人」

観光の育成に向けた取り組み

〇 核となる観光拠点の形成 【高知県地域アクションプランより】

- ヤ・シィパークを核とした地域の活性化促進プロジェクト 【実施主体：(株)ヤ・シィ・高知県・香南市】
ヤ・シィパークの整備に向けた協議及び合意形成、整備の実施
- 三宝山エリア観光拠点化事業 【実施主体：井上ワイナリー(株)/井上石灰工業(株)・高知県・香南市】
地域と連携した高知県産ワインのブランド化促進事業

〇 広域観光の推進

- 物部川エリア広域観光連携事業 【高知県地域アクションプランより】 【実施主体：(一社)物部川DMO協議会・高知県 等】
地域連携による周遊促進・観光客の広域誘致等

〇 スポーツツーリズムの推進

- サイクリングイベントの開催 自転車を通じた香南市のPR・サイクリスト誘致 等 (詳細はサイクリング分野7-7を参照)
- 塩の道を活用したイベントの開催 次世代への継承と観光誘致 【実施主体：(一社)香南市観光協会・土佐塩の道保存会】
- マリンスポーツの振興 マリン体験事業、マリンスポーツ大会の開催 【実施主体：NPO法人YASU海の駅クラブ】

【香南市観光の育成】

- ◆ 香南市の観光拠点の整備
 - 香南市の観光を確立させていくことで、新規観光拠点の確立へとつなげる。
- ◆ 香南市・香美市・南国市と連携した周遊観光の実現
 - 物部川地域の多様な観光資源を組み合わせ、魅力的な観光商品とするとともに地域の観光資源を磨き上げ、観光客の広域的な誘致を推進する。
- ◆ スポーツツーリズムの確立
 - 香南市内の資源を活用したスポーツイベントを開催し、スポーツに関心のある観光客の増加や関連施設の所得増加につなげる。

☞ **観光施設入込客数 累計 569万人へ**

受入体制の強化

〇 おもてなしの向上

- 香南市案内人会の拡充 【実施主体：香南市案内人会】
会員確保のための広報活動、受け入れ態勢の強化。
- 外国人観光客受入研修の実施 【実施主体：香南市】
外国人観光客とのコミュニケーション能力向上支援のための研修を実施。
- アンケート調査の実施 【実施主体：香南市】
市内主要観光施設においてアンケートを実施し、観光客ニーズと消費傾向を把握する。

【受入体制の強化】

- ◆ おもてなしの向上
 - 満足度向上によるリピーター・香南市ファンの創出や外国人対応可能な人材を確立し、外国人が訪れやすい環境を整備。

☞ **観光施設入込客数 累計 569万人へ**

★ R2年度 新規事業・バージョンアップ【PICK UP!】 : スポーツツーリズムの推進事業(新規)、マリンスポーツの振興(新規)、アンケート調査(新規) 香南市のPR活動の強化(拡充)、SNSを利用した情報発信(拡充)、三宝山エリア観光拠点化事業(拡充)

☆ R2年度 他分野との連携【PICK UP!】 : 観光サイクリングイベントの開催 (サイクリング委員会・農業部会)

(R6年末) 数値目標 「観光施設入込客数 累計 569万人」の達成へ!

数値目標 (単位)	基準値 (H30年度末実績)	R2	R3	R4	R5	R6	最終目標値
①サイクリングイベント・大会参加者数	181	500	720	840	960	1,130	4,150人 (5年間累計)
②サイクルサポーター数 (事業所・団体)	—	10	5	5	5	5	30団体 (5年間累計)

(備考) イベント・大会の参加者数 : 対象イベント・大会数 ① 三宝山ヒルクライム、② ツール・ド・トレイン、③ ポタリング、④ シクロクロスカップ、⑤ 3市ロングライド (調整中 ※R3より)、⑥ 健康サイクリング (市民向け)
 サイクルサポーター数 : 香南市の自転車利用促進の考えに参画し、活動する事業所・団体 (事業所も団体としてカウント表記)



(R2年度) ① 「サイクリングイベント・大会参加者数 500人」 ② 「サイクルサポーター数 10団体」	現況 事業	R2 令和2年度の取り組み	R3 R4 R5 R6 [R6年度末のあるべき姿]
(R2年度) ① 「サイクリングイベント・大会参加者数 500人」 ② 「サイクルサポーター数 10団体」	現況 事業	R2 令和2年度の取り組み	R3 R4 R5 R6 [R6年度末のあるべき姿]
(R2年度) ① 「サイクリングイベント・大会参加者数 500人」 ② 「サイクルサポーター数 10団体」	現況 事業	R2 令和2年度の取り組み	R3 R4 R5 R6 [R6年度末のあるべき姿]

(R6年度末) 数値目標
 ① サイクリングイベント・大会参加者数 累計 4,150人
 ② サイクルサポーター数 累計 30団体

○ サイクルツーリズムの推進

1. レンタサイクル推進事業 : 新規拠点でのレンタサイクルを拡大
 [実施主体 : サイクリングターミナル・のいち駅・創造広場「アクトランド」等]

2. サイクリングのPR : サイクリングコースパンフレット作成・施設やイベント等での配布
 [実施主体 : (一社) 香南市観光協会・NPO法人CyclingProject Maze-Cle・香南市]

3. イベント・大会の開催 : 三宝山ヒルクライム、サイクルトレイン、ポタリング、シクロクロスカップ、3市ロングライド
 [実施主体 : NPO法人CyclingProject Maze-Cle・高知県シクロクロス実行委員会・(一社)物部川IDMO協議会 香美市・南国市・香南市]

4. サイクリングガイドの育成とサイクリストの誘致
 [実施主体 : 香南市・サイクリングターミナル・NPO法人CyclingProject Maze-Cle]

○ 自転車を活用した健康づくり

1. 健康サイクリングの開催 : 健康パスポートを活用した健康サイクリングを年4回開催。(4月、5月、9月、10月) [実施主体 : 香南市]
2. タンデム自転車の利用促進 : タンデム自転車を活用できる施設や事業との連携強化。教室やパイロット育成を行う。
 [実施主体 : 香南市・サイクリングターミナル・NPO法人CyclingProject Maze-Cle]

3. 通勤等への自転車活用推進 : サイクルラック貸与、駐輪場整備補助 [実施主体 : 香南市]
4. ヘルメット着用率の向上 : 市内の自転車利用者のヘルメット着用率100%に向けた取り組み。 [実施主体 : 香南市]
5. 交通安全教室の開催 : 自転車への理解を促し、次代を担う若者等への啓発を実施。
 [実施主体 : 香南市・交通安全指導員協議会・市内各学校・サイクリングターミナル]

○ 観光サイクリストの受入体制づくり (関係人口の育成)

1. サイクルサポーター制度 : サイクリストにやさしいサービスを行う事業所や団体を統括する制度の構築、運用を実施。 [実施主体 : 香南市]
2. 思いやりサポート事業 : 「自転車追い越し思いやりステッカー」の作成、配布。 [実施主体 : 香南市]

○ 自転車を活用したまちづくりの推進

1. 香南市自転車活用推進計画の策定 : 自転車の活用を総合的・計画的に推進していくために、市独自のサイクリング推進の骨子として策定し、香南市のサイクリング事業を根付かせていく。 [実施主体 : 香南市]

○ サイクリストにやさしい環境の充実

1. サイクルラック導入事業 : サイクリストに立ち寄ってもらいやすい環境づくりを構築。 [実施主体 : 香南市]
2. 環境整備 : ヤ・シバパーク西自歩道・連結道、物部川右岸河川敷自歩道の整備 (国・県と連携)
 香南市自転車活用推進計画に基づき、サイクリングコースのブルーライン整備。
 (上記2コース + 既存6コース) [実施主体 : 香南市]
2. 道路環境整備 : 観光施設及び飲食店等の案内看板設置、ピクトグラムを作成。 [実施主体 : 香南市]
3. サイクリングターミナルの利活用、再整備 : 自転車に特化した観光・交通安全教室・合宿等を行うよう利活用を進める。 [実施主体 : 香南市]

【観光 (サイクリスト誘致)】

- ▶ イベント・PRによる「市外県外のサイクリストが来なくなるまち香南市」の定着させる。
- ▶ 市内観光施設・宿泊施設・飲食店等の収入増へつなげる。

👉 『観光』分野への寄与。

イベント・大会参加者延べ 3,450人

【健康づくり (市民向け)】

- ▶ 「健康づくりの促進」と「安全な自転車利用の促進」を通じて、自転車利用の関心を高め、利用促進を図る。
- 👉 観光サイクリストへの理解を深める。

健康イベント参加者 延べ700人

- ▶ 観光サイクリストの受入体制(関係人口)を構築・強化し、市民参加型でイベント等のサポートを行う。

サイクルサポーター 延べ30団体

【サイクリストのための環境整備】

- ▶ 環境整備による「サイクリストにやさしいまち「香南市」」の定着。
- 観光 : 市内観光施設・宿泊施設・飲食店等の収入増へ。
- 健康 : 健康になると共に、「自転車に理解があるまち」としての意識づくり。

サイクルラック設置 延べ100カ所

★ R2年度 新規事業・バージョンアップ【PICK UP!】 : 「香南市自転車活用推進計画」を策定し、自転車を活用したまちづくりの指針とする
 ☆ R2年度 他分野との連携【PICK UP!】 : 「自転車×○○体験イベント」の開催 (○○=釣り・みかん狩り・市内観光地・うまいもん巡り等) (水産・農業・観光部会)

数値目標（単位）	基準値 （H30年度末実績）	R2	R3	R4	R5	R6	最終目標値
-	-	-	-	-	-	-	-



住環境の整備・支援

(R2年度)

○ 住環境の整備事業

1. 香南市住宅リフォーム推進事業費：香南市住宅リフォーム推進事業費補助金
[実施主体：香南市 建設課] 総事業費 10,000万円 /年

2. 市営住宅生活環境の保全及び公衆衛生の向上事業：20戸 /年 の実施
[実施主体：香南市 住宅管財課]

新 3. 宅地整備事業：人口維持を目的とした宅地整備に向けた施策の調整を実施。
[実施主体：香南市 建設課] 【香南市まち・ひと・しごと創生総合戦略】
[香南市都市計画マスタープラン]

○ 住環境の耐震化事業

[実施主体：香南市 防災対策課]

- 1. 住宅耐震診断事業
 - ① 香南市木造住宅耐震診断事業
 - ② 香南市非木造住宅耐震診断費補助金
- 2. 住宅耐震改修事業
 - 香南市住宅耐震改修工事費等補助金
 - 香南市住宅耐震改修工事費等補助金
- 3. コンクリートブロック塀等耐震対策事業
 - 香南市ブロック塀等耐震対策事業費補助金 25件/年



○ 空き家対策事業

【香南市空き家等対策計画より】

- 1. 香南市老朽住宅等除却事業
 - [実施主体：香南市 防災対策課]：香南市老朽住宅等除却事業費補助金 30件/年の交付
- 2. 空き家バンク事業
 - [実施主体：香南市 地域支援課] 新規登録数 12件 /年
- 3. 空き家改修事業
 - [実施主体：香南市 地域支援課]：空き家改修事業費等補助金の交付
 - 空き家改修 3件 / 年
 - 空き家修繕 2件 / 年

空き家対策への取り組み

【住環境の整備・支援に向けた取り組み】

- 住環境のリフォーム整備を進め、生活環境の向上を図ることで、社会減（転出）抑制を図る。
 - 住環境の耐震化を図り、安心安全なまちづくりを図る。
 - 移住施策や防災計画、産業の担い手確保の考え等を反映させる宅地整備に取り組み、新たな「人」の流れをつくる。
- ・ 住宅リフォーム 500件、50,000万円
 - ・ 市営住宅 100戸
 - ・ 住宅耐震診断 250件
 - ・ 住宅耐震改修：設計 250件 / 工事 250件
 - ・ コンクリートブロック塀等耐震対策事業 125件

👉 2060年の人口 30,800人維持へ！

【空き家対策に向けた取り組み】

- 老朽化した空き家の除却を図り、市民が安全に、かつ、安心して暮らせることのできる生活環境を維持する。
- 利用可能な空き家は、ニーズに合わせてリフォーム等を行うことで再生し、活用する方法もあることから、移住施策とリンクさせる取り組みを進めていき、社会増（転入）を図る。

👉 2060年の人口 30,800人維持へ！

(R6年度末)

- 香南市の「将来の担い手である子供たちや親、学校の先生等を対象した各分野の事業」や「新たなニーズに対応できる人材の育成に向けた事業」を抜粋。
各事業を継続的に行っていくことで、持続可能な産業構造へとつなげていく！



農業分野

食育を通じて香南市の農業を伝える！

- 香南市で収穫されたもち米による餅つき大会等を実施。
〈実施主体〉 JA高知県香美地区青年部 等
- 市内産野菜の学校給食への供給（地産地消）
〈実施主体〉 地域地産地消推進協議会 等



林業分野

山や森林に親しむ企画の提供！

- 図書館等で子供たちを対象とした「木育イベント」の開催。
- 拡** □ 保・幼・小・中学校を対象とした「森林体験学習」を実施。
〈実施主体〉 高知県森と緑の会、香南市 等



水産業分野

食育を通じて香南市の水産業を伝える！

- シラス・シイラの学校給食への供給（地産地消）
〈実施主体〉 高知県漁協、市内業者 等
- 水産業に親しむ場づくり
調理体験等を通じて香南市の漁業を伝える。
〈実施主体〉 小中学校、行政 等



商業分野

拡 奨学金の返済負担をサポート！

- 人材の確保と市への定着を目的に、市内に事業所等を有する事業主に雇用され、又は本市において起業する方を対象に、借り入れた奨学金の一部を助成。
（※ 商業分野以外の就職でも活用可）
〈実施主体〉 香南市



工業分野

新 ものづくり教育推進事業！

- 次代を担う小中学生、高校生を対象として、市内工場の見学及び「ものづくり体験学習」を実施
- 地元企業との接点を設けることで地元の仕事を知り、地元で暮らすイメージを強めてもらう。
〈実施主体〉 香南市



観光分野

外国人観光客受入研修の実施！

- 観光関係事業者向けインバウンド研修を開催
- 文化やマナー、接客英語の習得を促し、外国人観光客とのコミュニケーション能力向上へつなげる。
〈実施主体〉 香南市

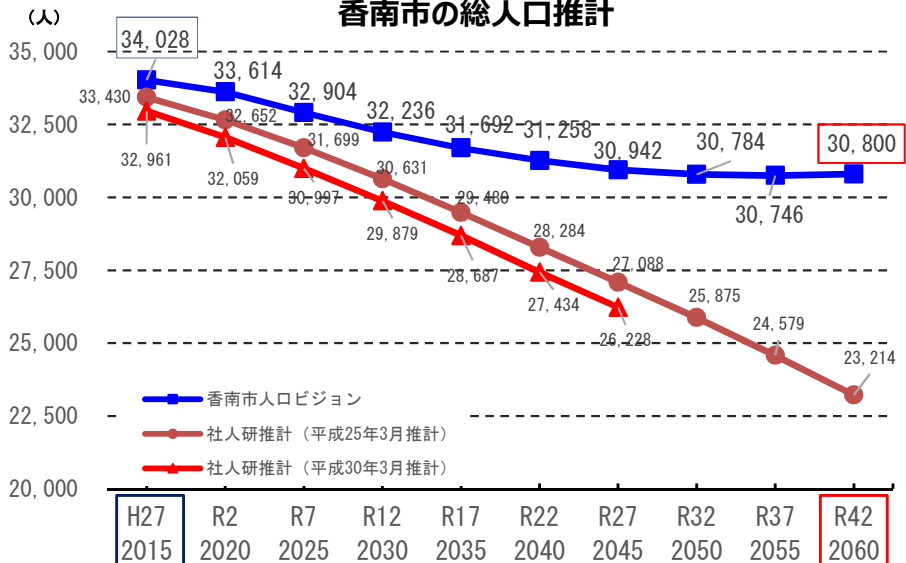


サイクリング分野

安全面強化に向けた取り組み！

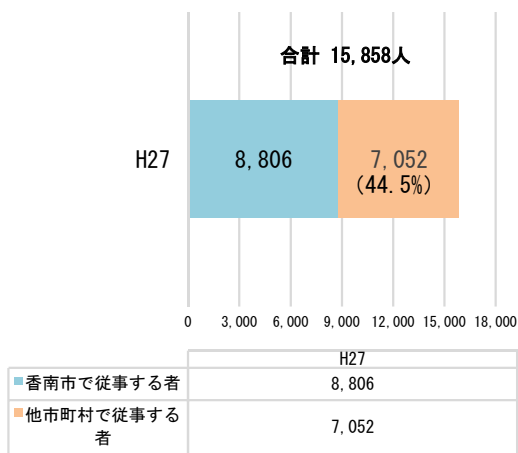
- ヘルメット着用率の向上に向けた取り組み！
- 18歳以下の児童等については「高知県自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」で着用の努力義務化がうたわれているため、通学外でもヘルメットを自ら着用し、事故に対する意識を向上させる。
- 新** □ 交通安全教室の開催！
〈実施主体〉 交通安全指導員協会、香南市 等

香南市の総人口推計



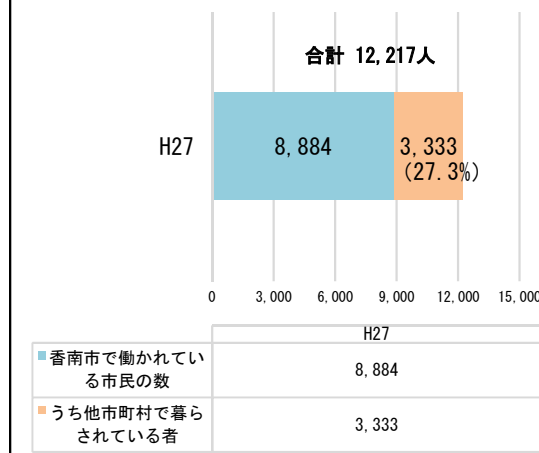
出典：国立社会保障・人口問題研究所、住民基本台帳

常住地による就業者数



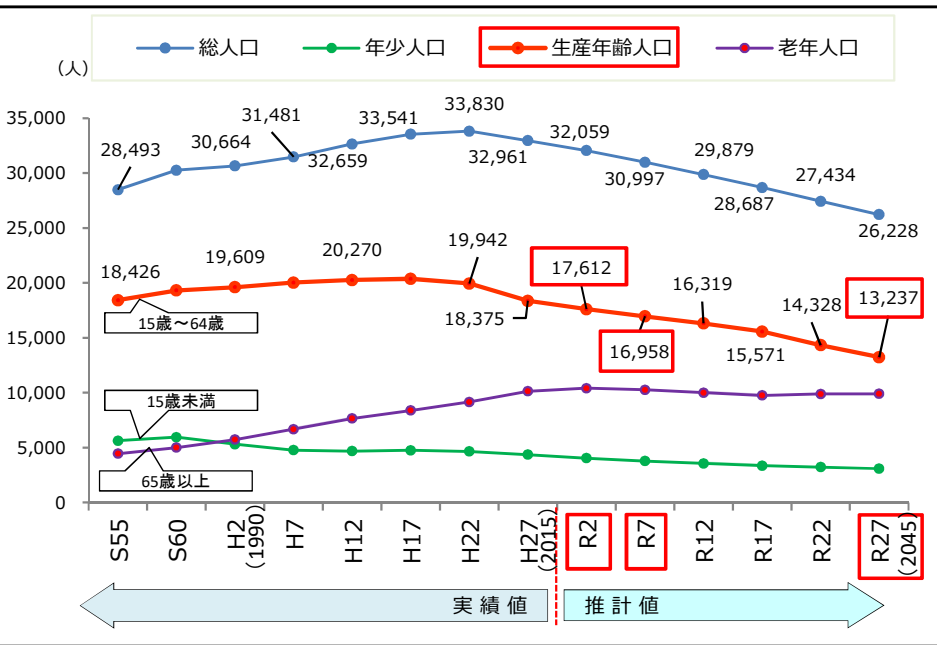
出典：平成27年国勢調査

従業地による就業者数



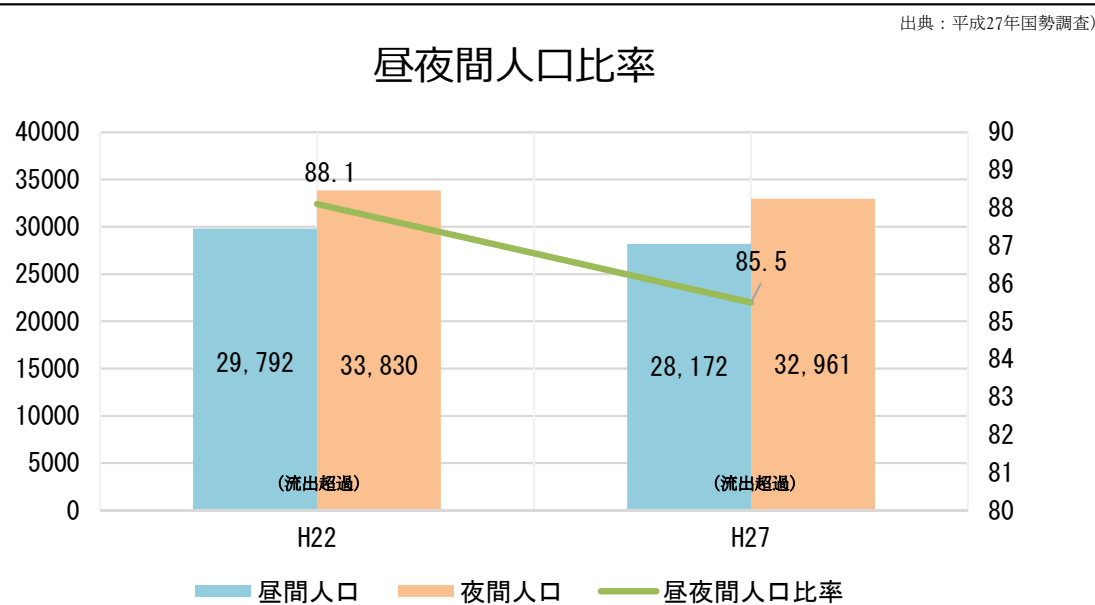
出典：平成27年国勢調査

香南市の各年齢人口の推移グラフ



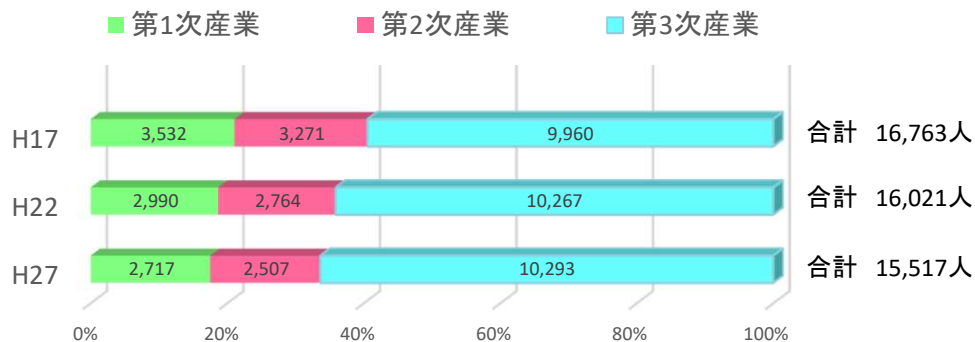
【出典】総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」
 【注記】R2年以降は「国立社会保障・人口問題研究所」のデータ(H30年3月公表)に基づく推計値

昼夜間人口比率



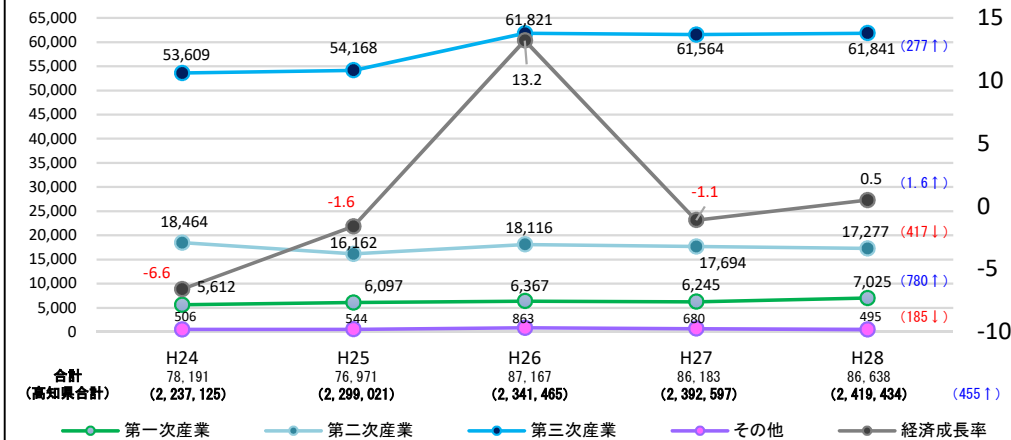
出典：平成27年国勢調査

香南市の産業別就業者の推移



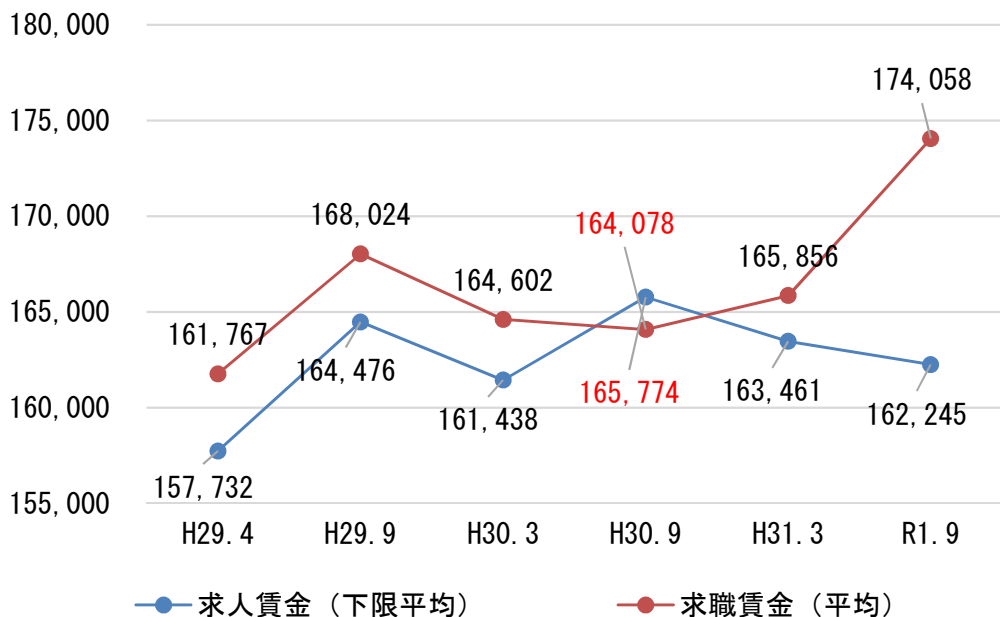
出典：平成27年国勢調査

【香南市】経済活動別市町村内総生産



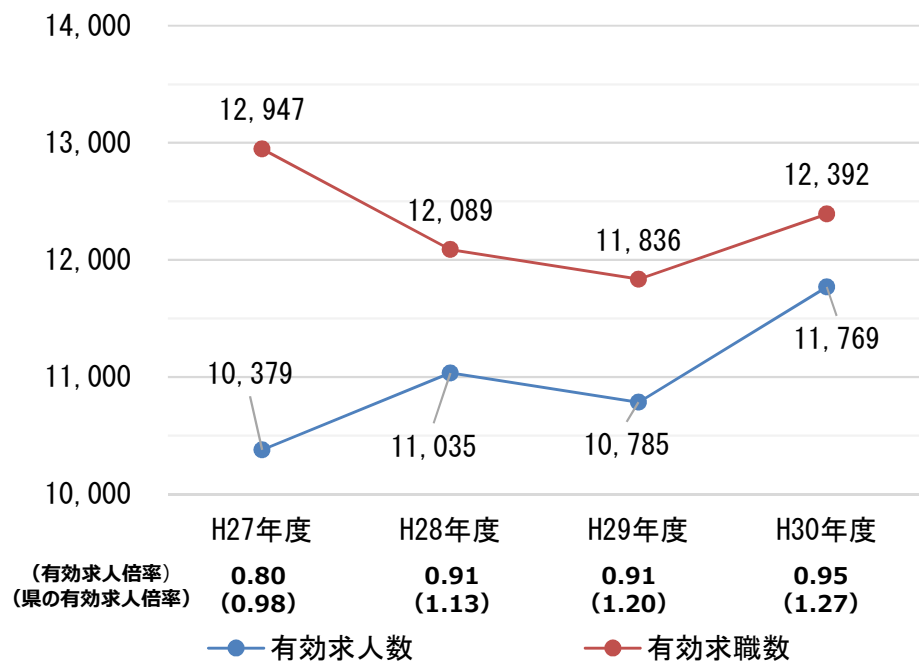
◆ 市町村経済都計の概念
 ・ 労働者や企業等の活動によって物やサービスが生産され、販売等を行うことにより生み出される新たな価値（付加価値）の合計。
 ※ 付加価値 = (物やサービスの販売額 - 生産に要した費用)

求人賃金と求職者希望額



(ハローワーク香美所管内データより)

求人・求職数および有効求人倍率



(ハローワーク香美所管内データより)